

男女共同参画社会に関する市民意識調査報告書

平成25年7月

常総市市民生活部市民協働課男女共同参画室

(2) 年齢比

	配布数 (人)	比率 (%)
20～29歳	207	13.80
30～39歳	313	20.87
40～49歳	301	20.06
50～59歳	264	17.60
60～69歳	415	27.67
全体	1,500	100.00

5 回収の結果

- (1) 配布数 1,500人
- (2) 回収数 398人
- (3) 回収率 26.53%

男女比

	配布数 (人)	回収数 (人)	比率 (%)
男性	788	161	20.43
女性	712	236	33.15
年齢不詳		1	
全体	1,500	398	26.53

年齢比

	配布数 (人)	回収数 (人)	比率 (%)
20～29歳	207	38	18.36
30～39歳	313	77	24.60
40～49歳	301	65	21.59
50～59歳	264	75	28.41
60～69歳	415	142	34.22
年齢不詳		1	
全体	1,500	398	26.53

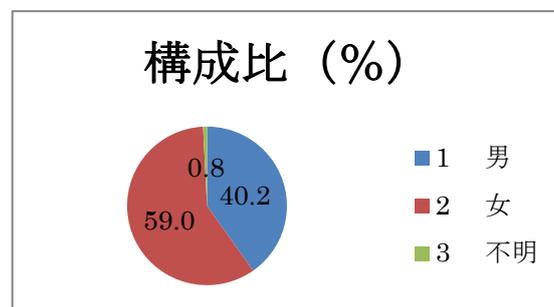
6 報告書を見る際の注意

- 集計は各属性で行っていますが、本報告書では、「全体」のほか、特徴のある属性のみコメントしています。
- 集計結果は、少数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢からひとつだけ選び回答する設問では、構成比の和が100%にならないことがあります。
- 属性別の集計結果については、属性の無回答者を除いて表示しているため、総数と異なる場合があります。
- 本文やグラフ中の選択肢は、調査票の言葉を短縮しているものがあります。
- 自由記述回答については、回答者の記述事項を整理・要約して掲載してあります。

◎あなたにご自身について

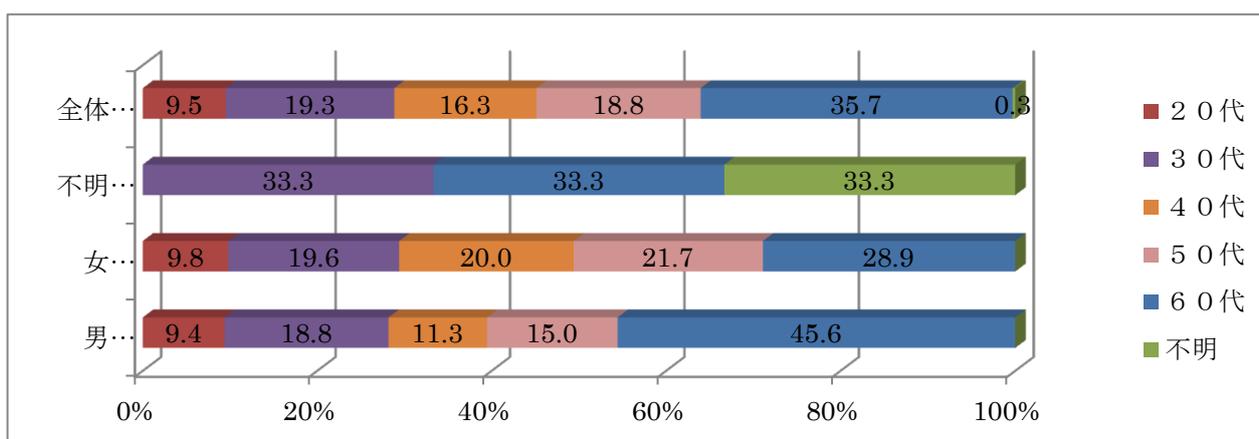
(1) あなたの性別について

	実数	構成比
男性	160	40.2
女性	235	59.0
不明	3	0.8
全体	398	100.0



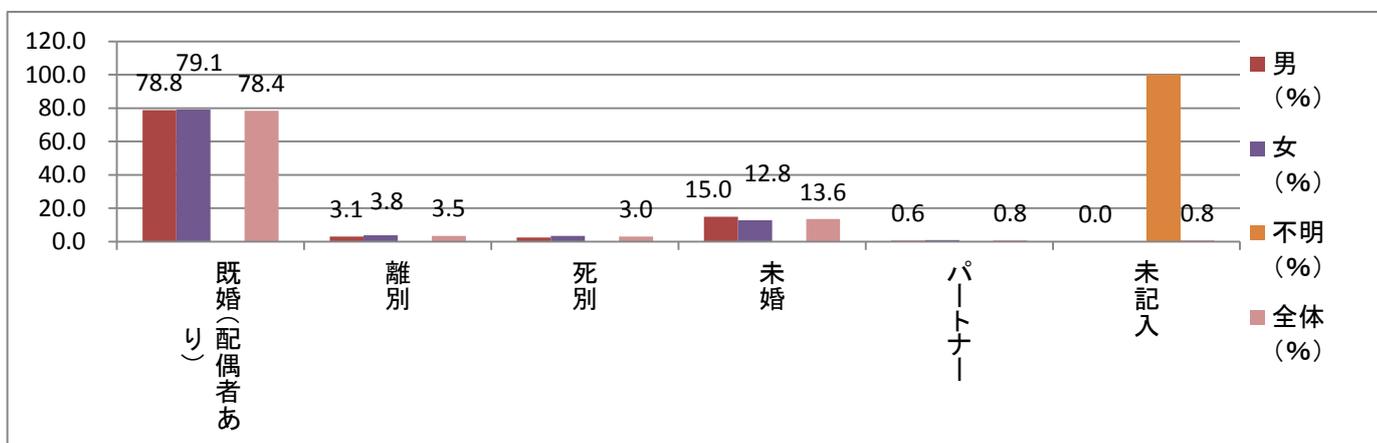
(2) あなたの年齢をお答えください (平成 25 年 6 月 1 日現在)

	男		女		不明		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	不明 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 20代	15	9.4	23	9.8	0	0.0	38	9.5
2 30代	30	18.8	46	19.6	1	33.3	77	19.3
3 40代	18	11.3	47	20.0	0	0.0	65	16.3
4 50代	24	15.0	51	21.7	0	0.0	75	18.8
5 60代	73	45.6	68	28.9	1	33.3	142	35.7
6 不明	0	0.0	0	0.0	1	33.3	1	0.3
合計	160	100.0	235	100.0	3	100.0	398	100.0



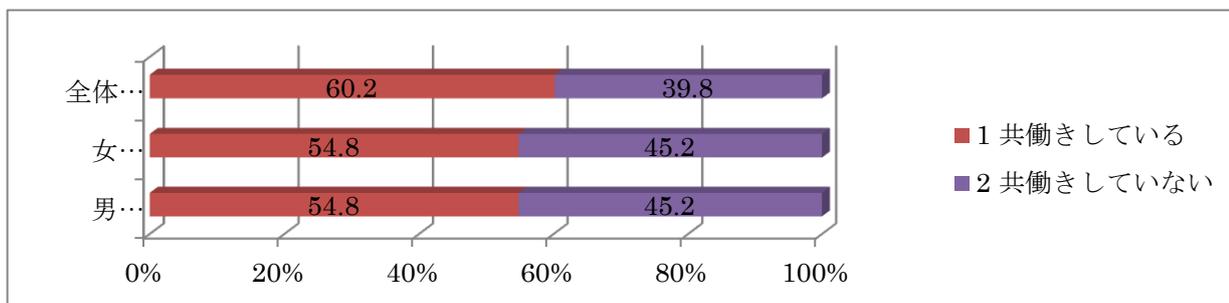
(3) あなたの結婚の状況をお答えください。

	男		女		不明		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	不明 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 既婚(配偶者あり)	126	78.8	186	79.1	0	0.0	312	78.4
2 離別	5	3.1	9	3.8	0	0.0	14	3.5
3 死別	4	2.5	8	3.4	0	0.0	12	3.0
4 未婚	24	15.0	30	12.8	0	0.0	54	13.6
5 パートナー	1	0.6	2	0.9	0	0.0	3	0.8
6 未記入	0	0.0	0	0.0	3	100.0	3	0.8
合 計	160	100.0	235	100.0	3	100.0	398	100.0



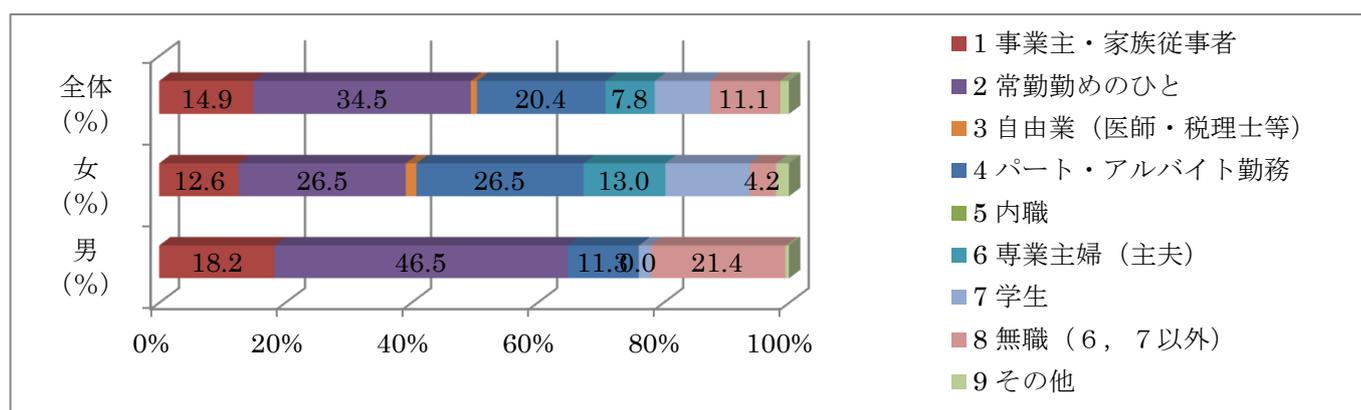
(4) 3で、「配偶者あり」とお答えの方にお伺いします。配偶者の方は、共働きをしていますか。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 共働きしている	69	54.8	117	54.8	186	60.2
2 共働きしていない	57	45.2	66	45.2	123	39.8
合 計	126	100.0	183	100.0	309	100.0



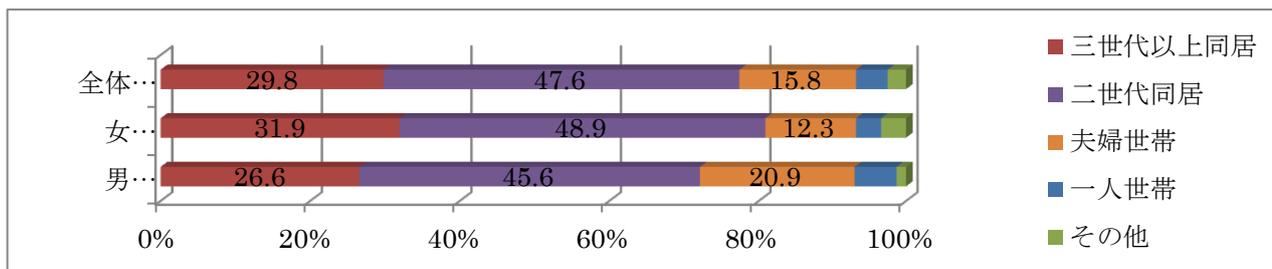
(5) あなたの職業はどのような内容ですか。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 事業主・家族従事者	29	18.2	30	12.6	59	14.9
2 常勤勤めのひと	74	46.5	63	26.5	137	34.5
3 自由業(医師・税理士等)	0	0.0	4	1.7	4	1.0
4 パート・アルバイト勤務	18	11.3	63	26.5	81	20.4
5 内職	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 専業主婦(主夫)	0	0.0	31	13.0	31	7.8
7 学生	3	1.9	32	13.4	35	8.8
8 無職(6, 7以外)	34	21.4	10	4.2	44	11.1
9 その他	1	0.6	5	2.1	6	1.5
合 計	159	100.0	238	100.0	397	100.0



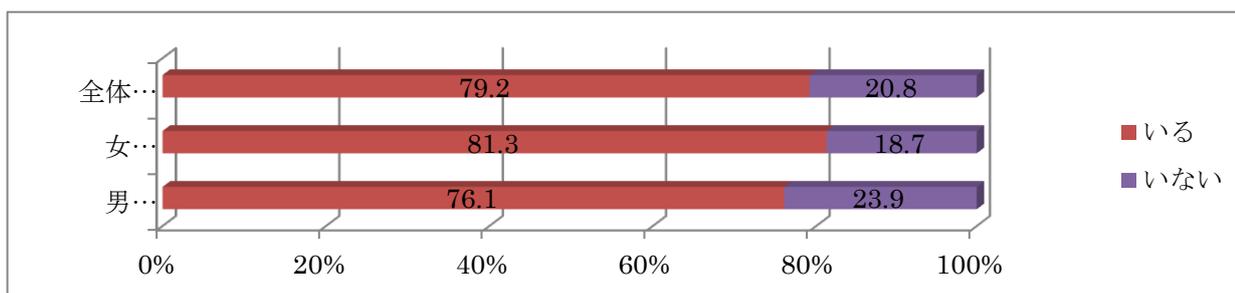
(6) あなたの家族構成を教えてください。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 三世代以上同居	42	26.6	75	31.9	117	29.8
2 二世世代同居	72	45.6	115	48.9	187	47.6
3 夫婦世帯	33	20.9	29	12.3	62	15.8
4 一人世帯	9	5.7	8	3.4	17	4.3
5 その他	2	1.3	8	3.4	10	2.5
合 計	158	100.0	235	100.0	393	100.0



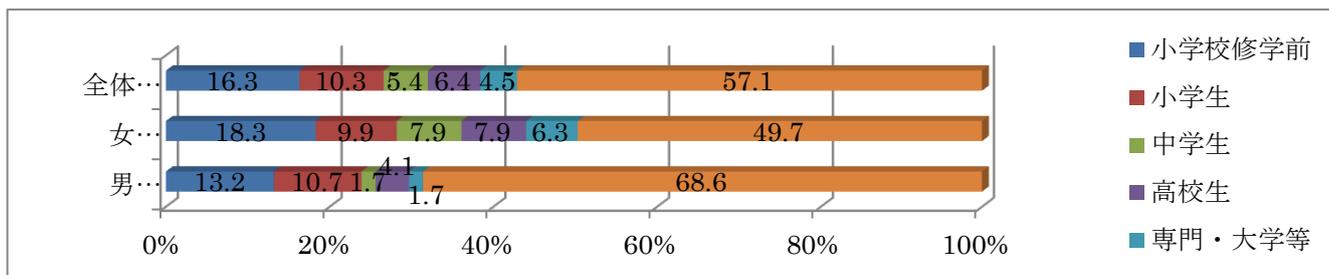
(7) あなたには、お子さんがいますか。

		男		女		全体	
		実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1	いる	121	76.1	191	81.3	312	79.2
2	いない	38	23.9	44	18.7	82	20.8
合 計		159	100.0	235	100.0	394	100.0



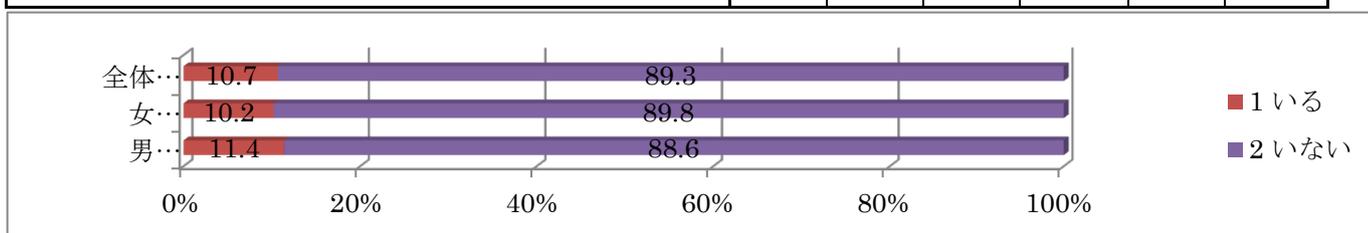
(8) 7で「いる」とお答えいただいた方にお伺いします。一番下のお子さんは、現在次のどれに該当しますか。

		男		女		全体	
		実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1	小学校修学前	16	13.2	35	18.3	51	16.3
2	小学生	13	10.7	19	9.9	32	10.3
3	中学生	2	1.7	15	7.9	17	5.4
4	高校生	5	4.1	15	7.9	20	6.4
5	専門・大学等	2	1.7	12	6.3	14	4.5
6	その他	83	68.6	95	49.7	178	57.1
合 計		121	100.0	191	100.0	312	100.0



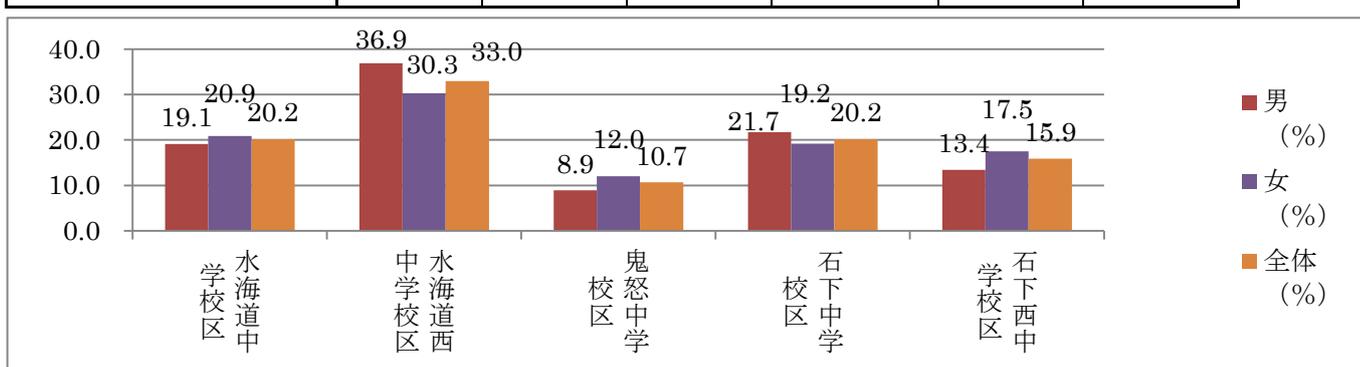
(9) あなたのお宅には、現在介護を必要とする高齢者はいますか。

		男		女		全体	
		実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1	いる	18	11.4	24	10.2	42	10.7
2	いない	140	88.6	212	89.8	352	89.3
合 計		158	100.0	236	100.0	394	100.0



(10) あなたがお住まいの地区はどの中学校区になりますか。

	男		女		全体		
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)	
1 水海道中学校区	30	19.1	49	20.9	79	20.2	
2 水海道西中学校区	58	36.9	71	30.3	129	33.0	
3 鬼怒中学校区	14	8.9	28	12.0	42	10.7	
4 石下中学校区	34	21.7	45	19.2	79	20.2	
5 石下西中学校区	21	13.4	41	17.5	62	15.9	
合 計		157	100.0	234	100.0	391	100.0

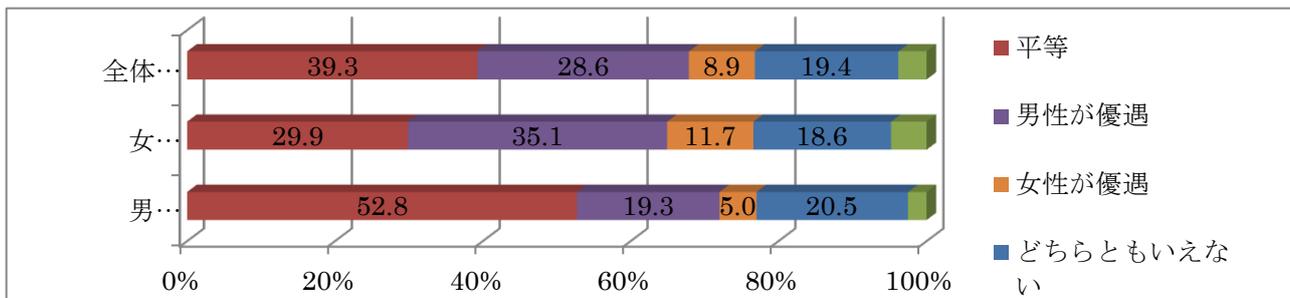


I 男女の地位の平等に関する意識について

問1 あなたは、次にあげる分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。

○家庭の中では

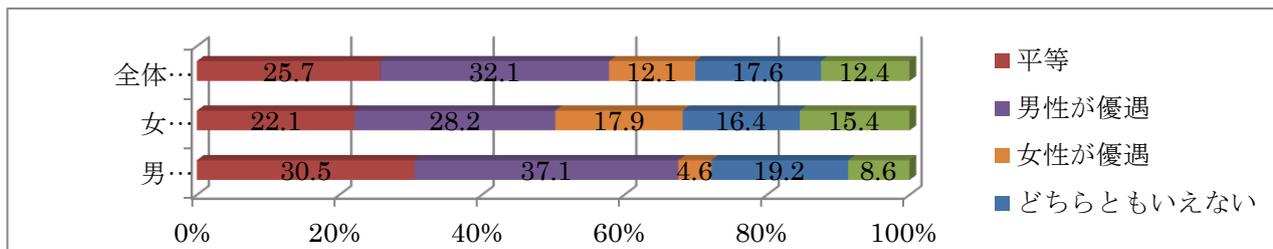
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 平等	85	52.8	69	29.9	154	39.3
2 男性が優遇	31	19.3	81	35.1	112	28.6
3 女性が優遇	8	5.0	27	11.7	35	8.9
4 どちらともいえない	33	20.5	43	18.6	76	19.4
5 わからない	4	2.5	11	4.8	15	3.8
合計	161	100.0	231	100.0	392	100.0



※家庭の中では、男性の半数以上が「平等」と感じていますが、女性ではやはり「男性のほうが優遇されている」と感じている方が多いようです。前回の調査では「平等」との答えが全体の39.2%でしたので、残念ながらあまり意識は変わっていないようです。

○職場の中では

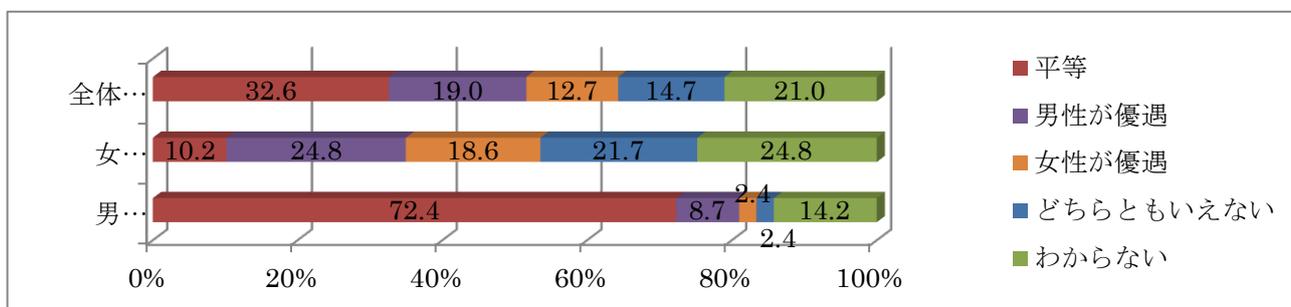
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 平等	46	30.5	43	22.1	89	25.7
2 男性が優遇	56	37.1	55	28.2	111	32.1
3 女性が優遇	7	4.6	35	17.9	42	12.1
4 どちらともいえない	29	19.2	32	16.4	61	17.6
5 わからない	13	8.6	30	15.4	43	12.4
合計	151	100.0	195	100.0	346	100.0



※職場の中では、前回は「男性が優遇」と答えた方は、44.0%でしたが、今回は32.1%とだいぶ下がりましたが、「平等」と答えた人が、全体を見ると前回の25.9%から0.2%下がり、25.7%になり、職場においてまだまだ平等意識が低いようです。

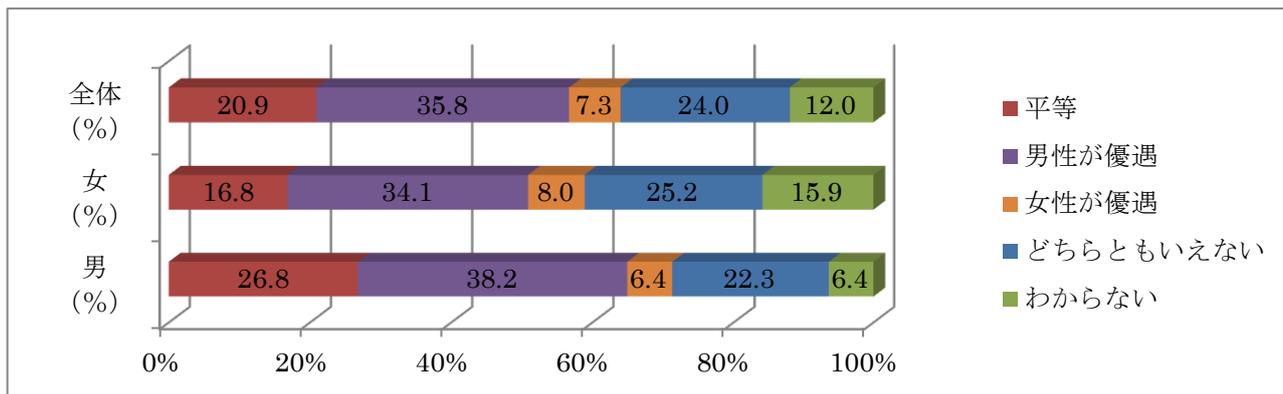
○教育の中では

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 平等	92	72.4	23	10.2	115	32.6
2 男性が優遇	11	8.7	56	24.8	67	19.0
3 女性が優遇	3	2.4	42	18.6	45	12.7
4 どちらともいえない	3	2.4	49	21.7	52	14.7
5 わからない	18	14.2	56	24.8	74	21.0
合計	127	100.0	226	100.0	353	100.0



○地域社会の中では

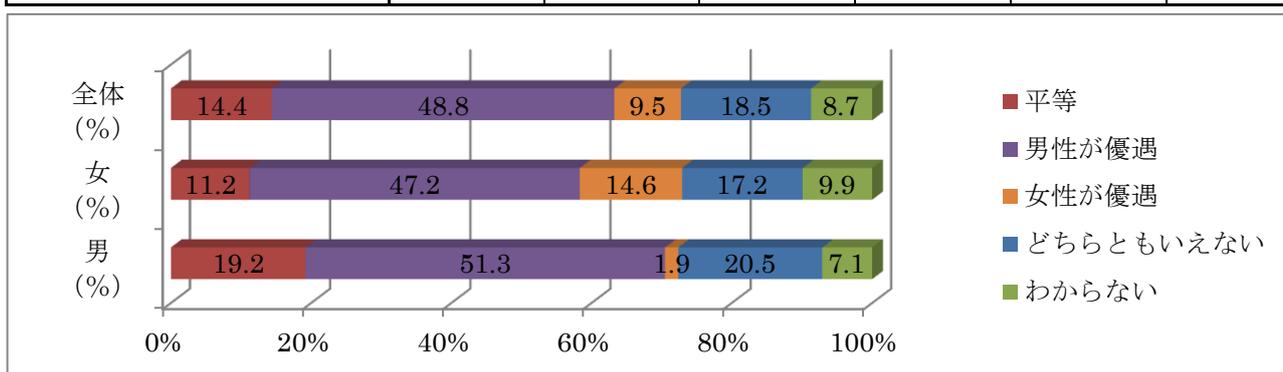
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 平等	42	26.8	38	16.8	80	20.9
2 男性が優遇	60	38.2	77	34.1	137	35.8
3 女性が優遇	10	6.4	18	8.0	28	7.3
4 どちらともいえない	35	22.3	57	25.2	92	24.0
5 わからない	10	6.4	36	15.9	46	12.0
合計	157	100.0	226	100.0	383	100.0



※地域社会の中では、依然として「男性が優遇されている」と答えている方が多いようですが、前回「男性が優遇」と答えた方の平均の 42.9%からすると少し下がり、意識が変わってきたことがわかります。PTA 活動，子ども会活動，ボランティア活動などの地域活動において、女性の参加が多いことに比べると、もう少し意識が変わってきてほしいものです。

○しきたりや習慣では

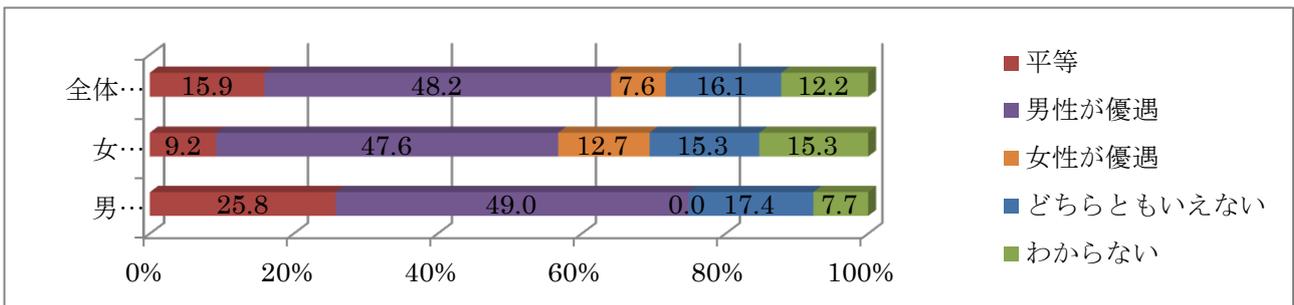
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 平等	30	19.2	26	11.2	56	14.4
2 男性が優遇	80	51.3	110	47.2	190	48.8
3 女性が優遇	3	1.9	34	14.6	37	9.5
4 どちらともいえない	32	20.5	40	17.2	72	18.5
5 わからない	11	7.1	23	9.9	34	8.7
合計	156	100.0	233	100.0	389	100.0



※しきたりや習慣では、前回の「平等」と答えた方の全体が 12.6%で、今回は 14.4%と少し意識が変わってきたことがわかります。また、「男性が優遇」と答えている方は、全体で 48.8%となり、前回の 61.7%に比べるとだいぶ下がっていることがわかります。半数以下ではありますが、社会通念や、習慣の見直しは更に必要かと思われます。

○政治の場では

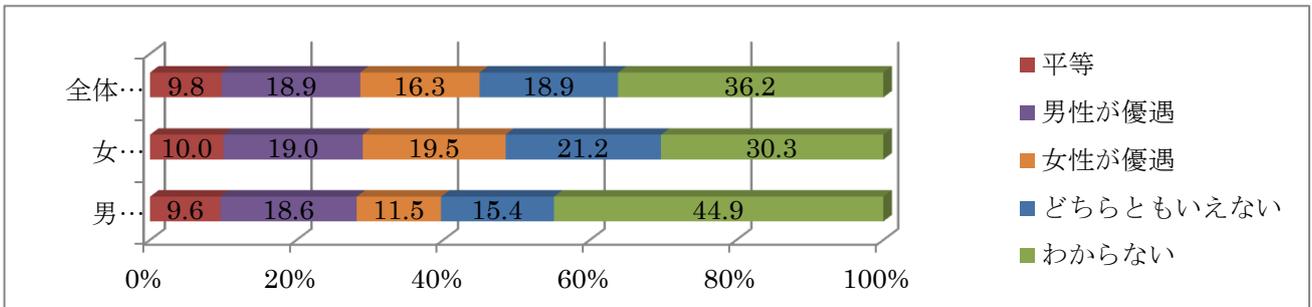
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 平等	40	25.8	21	9.2	61	15.9
2 男性が優遇	76	49.0	109	47.6	185	48.2
3 女性が優遇	0	0.0	29	12.7	29	7.6
4 どちらともいえない	27	17.4	35	15.3	62	16.1
5 わからない	12	7.7	35	15.3	47	12.2
合計	155	100.0	229	100.0	384	100.0



※今回は、初めて政治の場での平等を調査しましたが、政治家は男性が多く日本社会においては、まだまだ男女共同参画が遅れており、市民の意識も男性が優遇されていると感じているようです。

○法律や制度では

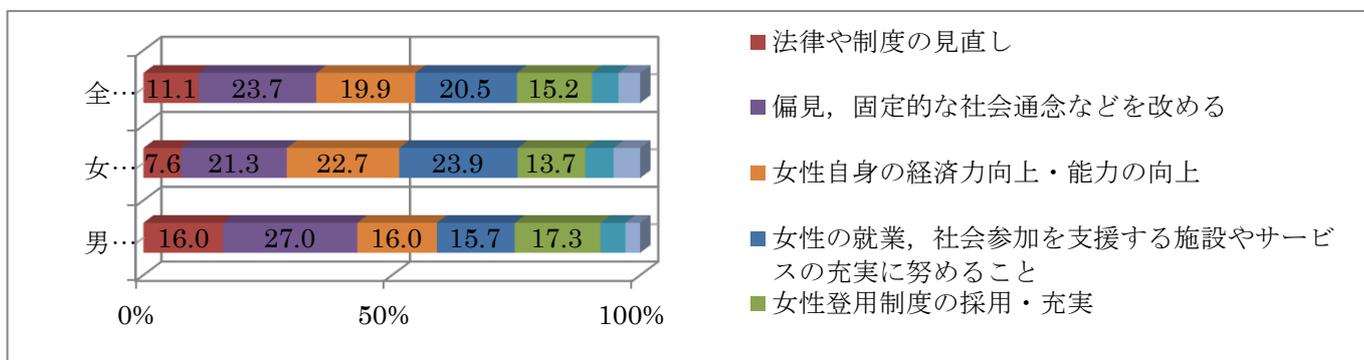
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 平等	15	9.6	23	10.0	38	9.8
2 男性が優遇	29	18.6	44	19.0	73	18.9
3 女性が優遇	18	11.5	45	19.5	63	16.3
4 どちらともいえない	24	15.4	49	21.2	73	18.9
5 わからない	70	44.9	70	30.3	140	36.2
合計	156	100.0	231	100.0	387	100.0



※法律や制度では、「わからない」、「どちらともいえない」と答えた方が半数を占め、法律や制度は関心が薄いように思われます。

問 2 今後あなたが、男女があらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことはなんですか。次の中から2つ以内選んでください。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 法律や制度の見直し	48	16.0	32	7.6	80	11.1
2 偏見, 固定的な社会通念などを改める	81	27.0	90	21.3	171	23.7
3 女性自身の経済力向上・能力の向上	48	16.0	96	22.7	144	19.9
4 女性の就業, 社会参加を支援する施設やサービスの充実に努めること	47	15.7	101	23.9	148	20.5
5 女性登用制度の採用・充実	52	17.3	58	13.7	110	15.2
6 わからない	15	5.0	23	5.7	38	5.3
7 その他	9	3.0	23	5.4	32	4.4
合計	300	100.0	423	100.0	723	100.0

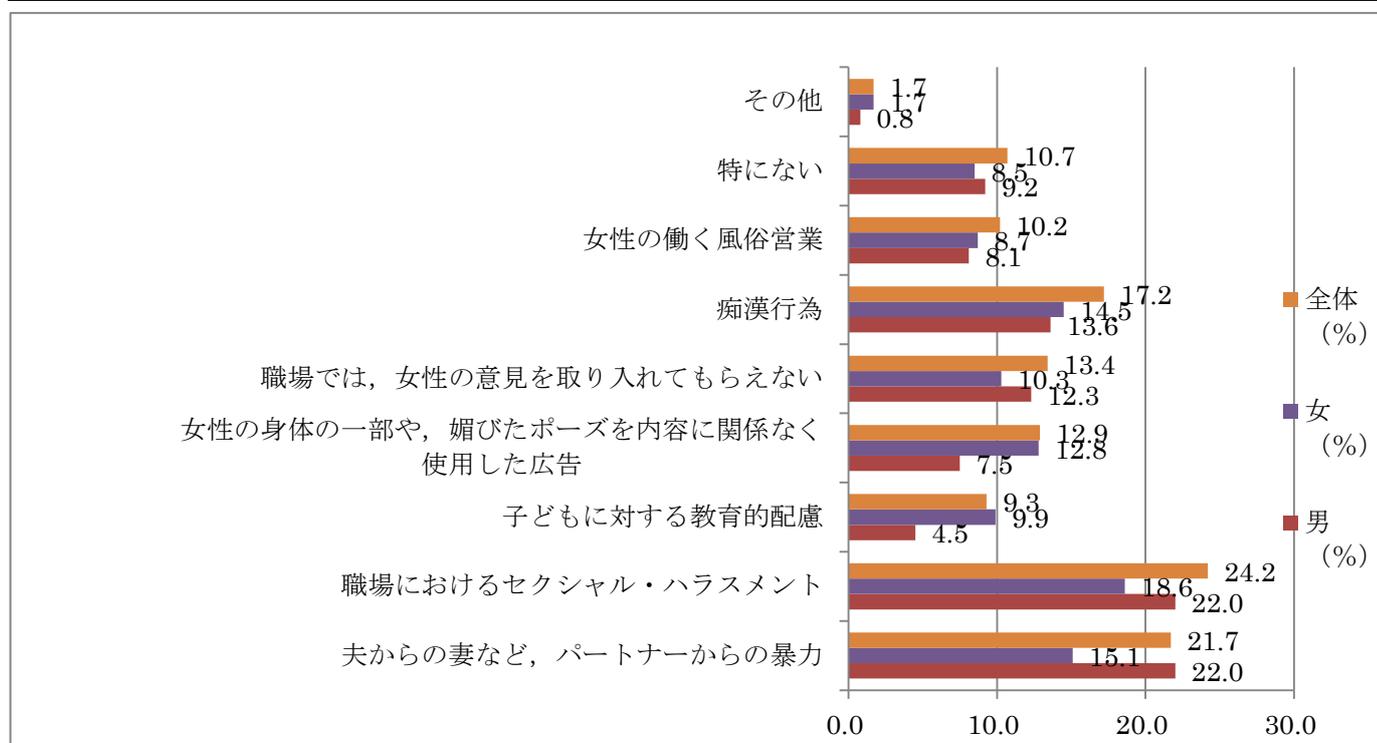


※あらゆる分野での平等になるためには、「偏見, 固定的な社会通念などを改めること」が、多く選ばれています。

II 人権問題について

問3 あなたは、どのようなときに女性の人権が尊重されていないと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 夫からの妻など、パートナーからの暴力	79	22.0	78	15.1	157	21.7
2 職場におけるセクシャル・ハラスメント	79	22.0	96	18.6	175	24.2
3 子どもに対する教育的配慮	16	4.5	51	9.9	67	9.3
4 女性の身体の一部や、媚びたポーズを内容に関係なく使用した広告	27	7.5	66	12.8	93	12.9
5 職場では、女性の意見を取り入れてもらえない	44	12.3	53	10.3	97	13.4
6 痴漢行為	49	13.6	75	14.5	124	17.2
7 女性の働く風俗営業	29	8.1	45	8.7	74	10.2
8 特にない	33	9.2	44	8.5	77	10.7
9 その他	3	0.8	9	1.7	12	1.7
	359	100.0	517	100.0	876	100.0

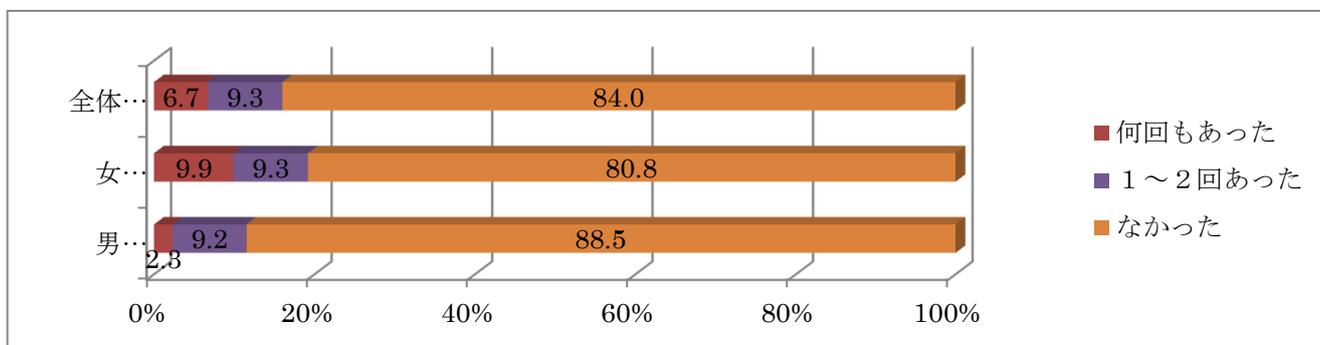


※女性の人権の尊重については、パートナーからの暴力(DV)や、セクシャル・ハラスメントに対して、人権が尊重されていないと感じる方が全体の約半数を占めています。

問 4 配偶者やパートナーからの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）が社会的に問題となっていますが、あなたは、次の項目にあるようなことを受けたことはありますか。それぞれ1つ選んでください。

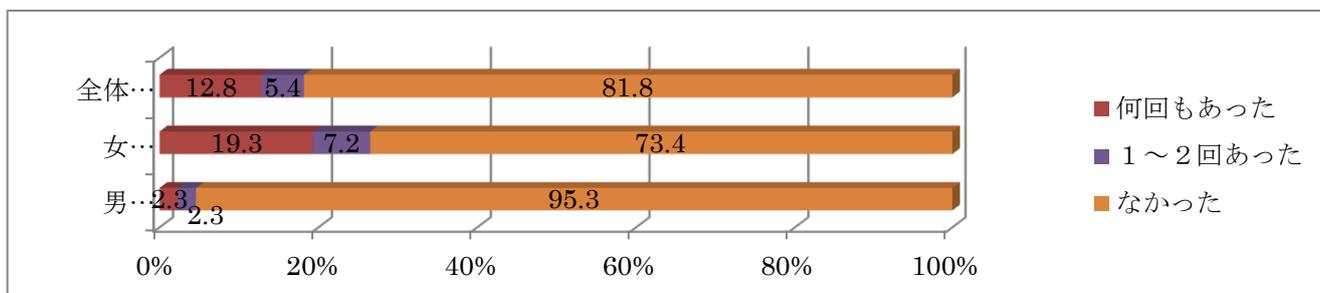
○何を言っても無視された

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 何回もあった	3	2.3	18	9.9	21	6.7
2 1～2回あった	12	9.2	17	9.3	29	9.3
3 なかった	115	88.5	147	80.8	262	84.0
	130	100.0	182	100.0	312	100.0



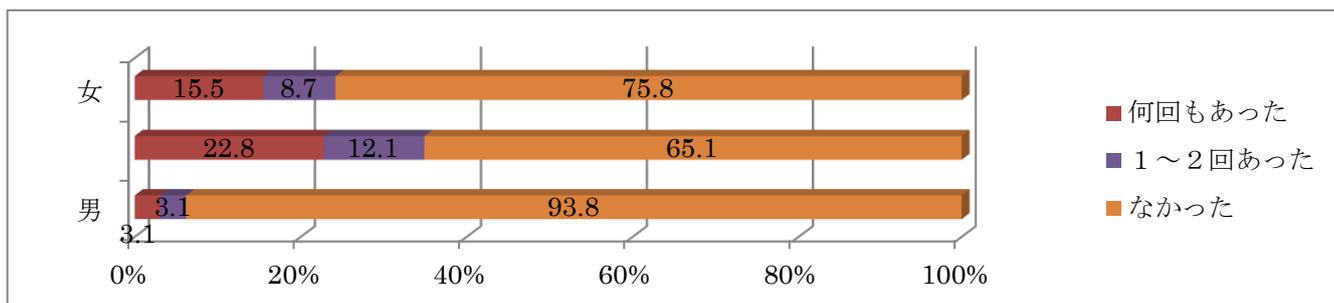
○交友関係や電話等を細かく監視された

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 何回もあった	3	2.3	40	19.3	43	12.8
2 1～2回あった	3	2.3	15	7.2	18	5.4
3 なかった	122	95.3	152	73.4	274	81.8
合計	128	100.0	207	100.0	335	100.0



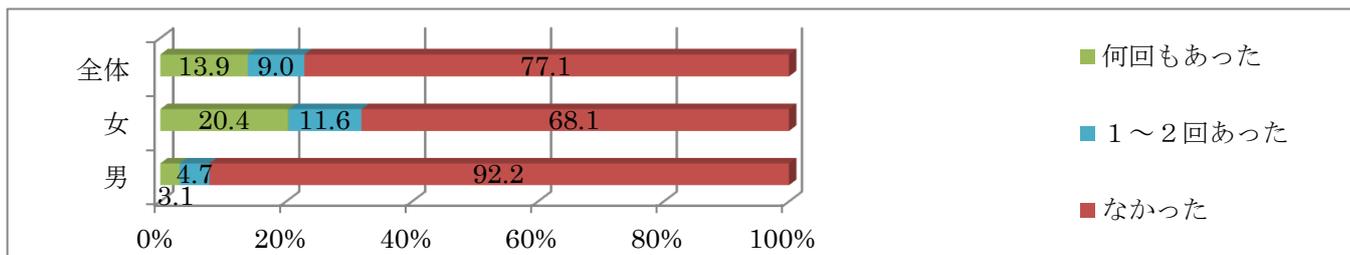
○物を投げるまねや、叩くまねで脅かされた

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 何回もあった	4	3.1	49	22.8	53	15.5
2 1～2回あった	4	3.1	26	12.1	30	8.7
3 なかった	120	93.8	140	65.1	260	75.8
合計	128	100.0	215	100.0	343	100.0



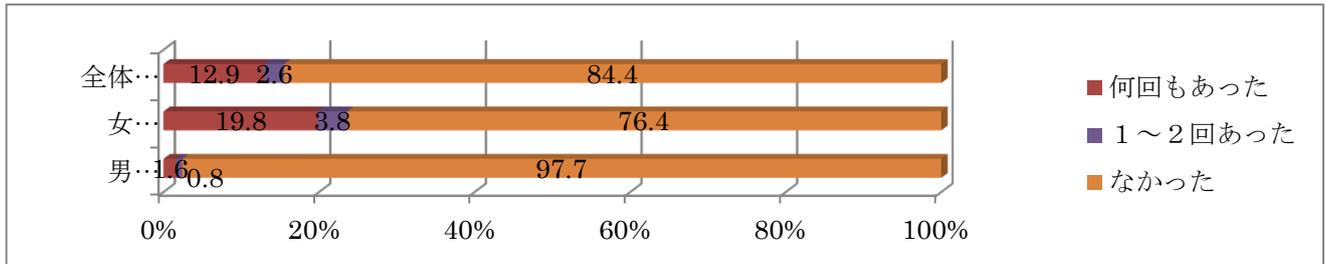
○実際にモノを投げられたり、叩かれたりした

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 何回もあった	4	3.1	44	20.4	48	13.9
2 1～2回あった	6	4.7	25	11.6	31	9.0
3 なかった	119	92.2	147	68.1	266	77.1
合計	129	100.0	216	100.0	345	100.0



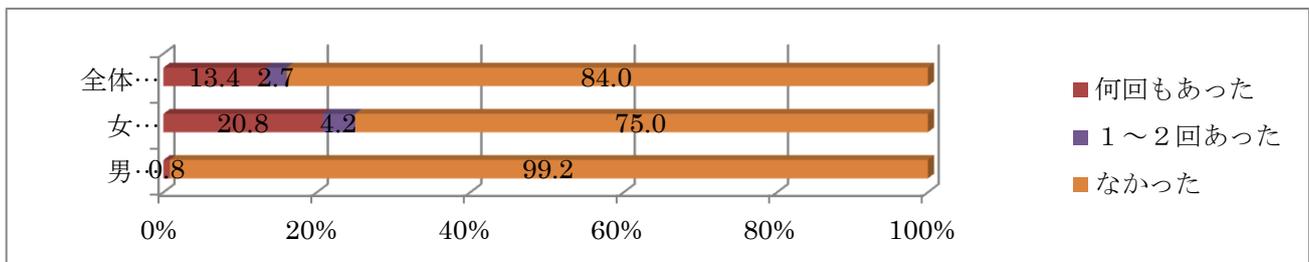
○生活費をくれない

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 何回もあった	2	1.6	42	19.8	44	12.9
2 1～2回あった	1	0.8	8	3.8	9	2.6
3 なかった	125	97.7	162	76.4	287	84.4
合計	128	35.7	212	41.0	340	100.0



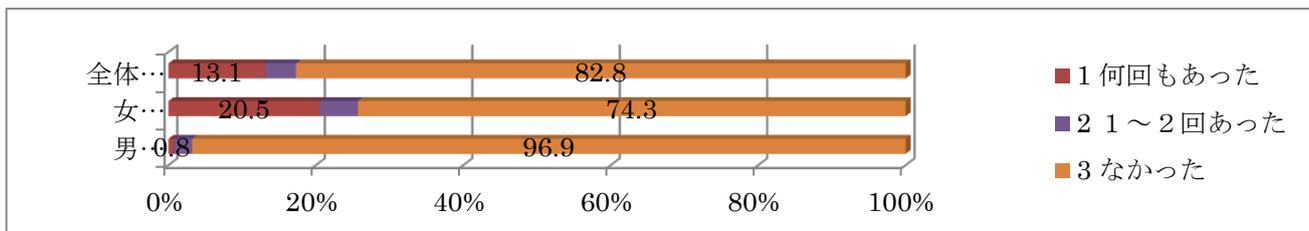
○避妊に協力しない

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 何回もあった	1	0.8	44	20.8	45	13.4
2 1～2回あった	0	0.0	9	4.2	9	2.7
3 なかった	124	99.2	159	75.0	283	84.0
合計	125	100.0	212	100.0	337	100.0



○子どもに暴力を目撃された

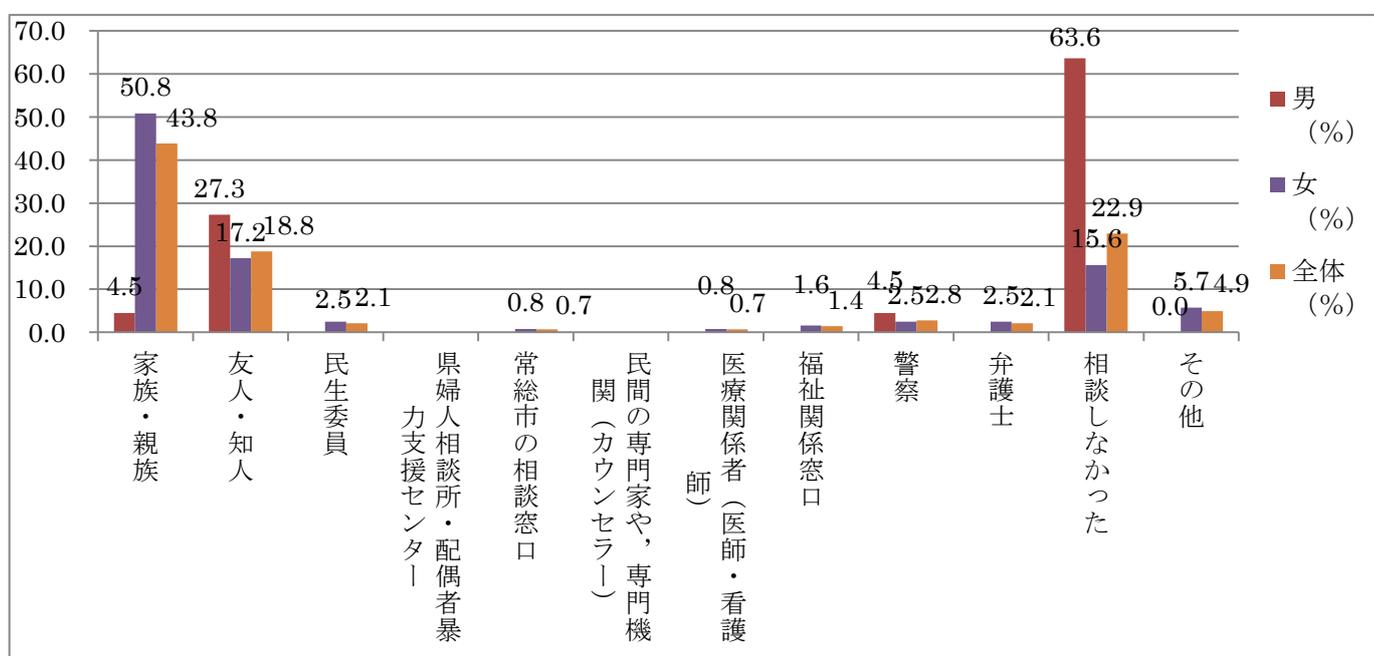
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 何回もあった	1	0.8	43	20.5	44	13.1
2 1～2回あった	3	2.4	11	5.2	14	4.2
3 なかった	123	96.9	156	74.3	279	82.8
計	127	100.0	210	100.0	337	100.0



※前回調査時においては、「何回もあった」と答えた人がどの設問においても、10%以下の数字でしたが、今回の調査では「何回もあった」と答えた方が10%を上回っていました。

問5 問4で「何回もあった」「1～2回あった」と答えた方にお尋ねします。あなたが、DV（ドメスティック・バイオレンス）の被害にあったとき、だれ（どこ）に相談しましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

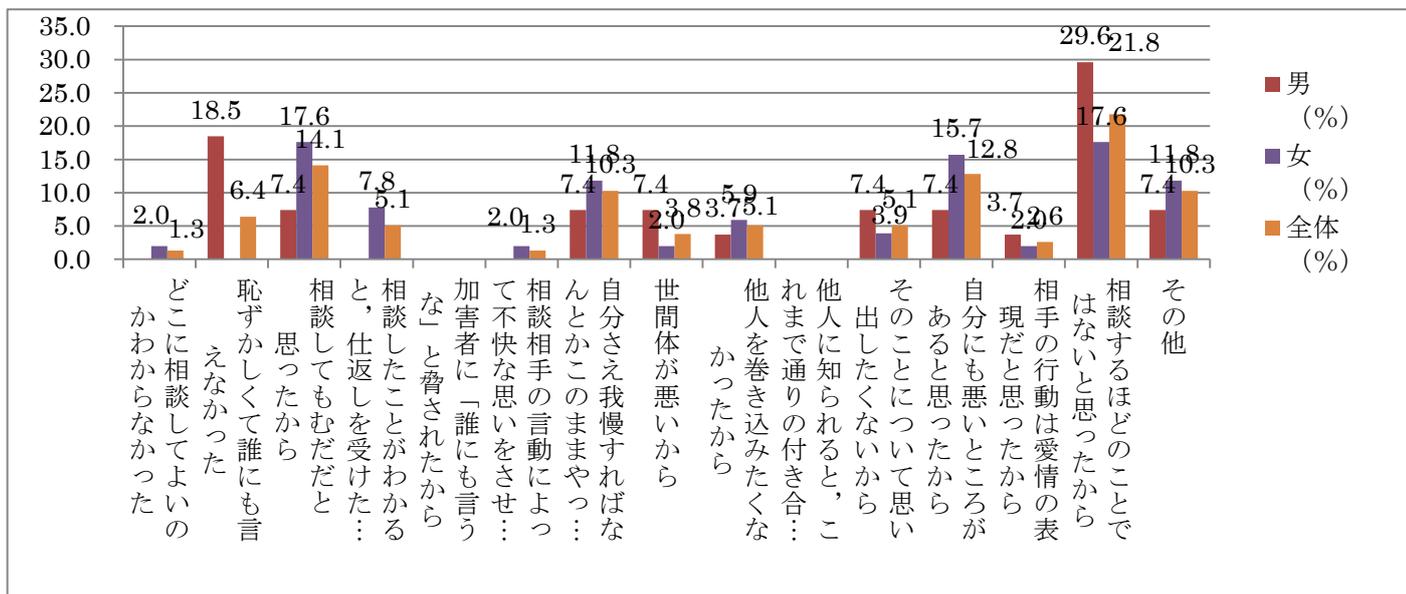
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 家族・親族	1	4.5	62	50.8	63	43.8
2 友人・知人	6	27.3	21	17.2	27	18.8
3 民生委員	0	0.0	3	2.5	3	2.1
4 県婦人相談所・配偶者暴力支援センター	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 常総市の相談窓口	0	0.0	1	0.8	1	0.7
6 民間の専門家や、専門機関(カウンセラー)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7 医療関係者(医師・看護師)	0	0.0	1	0.8	1	0.7
8 福祉関係窓口	0	0.0	2	1.6	2	1.4
9 警察	1	4.5	3	2.5	4	2.8
10 弁護士	0	0.0	3	2.5	3	2.1
11 相談しなかった	14	63.6	19	15.6	33	22.9
12 その他	0	0.0	7	5.7	7	4.9
合計	22	100.0	122	100.0	144	100.0



※DVの被害にあっても、「どこにも相談しなかった」が、全体で22.9%、「家族や親族」に相談は43.8%と、せっかく相談窓口があるにもかかわらず相談できないことは残念であり、身近な相談体制づくりが必要かと思われます。また、男性被害者の63.6%が「相談しなかった」を選択しています。

問6 問5で「相談しなかった」と答えた方にお伺いします。どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものを、すべて選んでください。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 どこに相談してよいのかわからなかった	0	0.0	1	2.0	1	1.3
2 恥ずかしくて誰にも言えなかった	5	18.5	0	0.0	5	6.4
3 相談してもむだだと思ったから	2	7.4	9	17.6	11	14.1
4 相談したことがわかると、仕返しを受けて、もっとひどい暴力を受けると思ったから	0	0.0	4	7.8	4	5.1
5 加害者に「誰にも言うな」と脅されたから	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	0	0.0	1	2.0	1	1.3
7 自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから	2	7.4	6	11.8	8	10.3
8 世間体が悪いから	2	7.4	1	2.0	3	3.8
9 他人を巻き込みたくなかったから	1	3.7	3	5.9	4	5.1
10 他人に知られると、これまで通りの付き合いができなくなると思ったから	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11 そのことについて思い出したいくないから	2	7.4	2	3.9	4	5.1
12 自分にも悪いところがあると思ったから	2	7.4	8	15.7	10	12.8
13 相手の行動は愛情の表現だと思ったから	1	3.7	1	2.0	2	2.6
14 相談するほどのことではないと思ったから	8	29.6	9	17.6	17	21.8
15 その他	2	7.4	6	11.8	8	10.3
合計	27	100.0	51	100.0	78	100.0

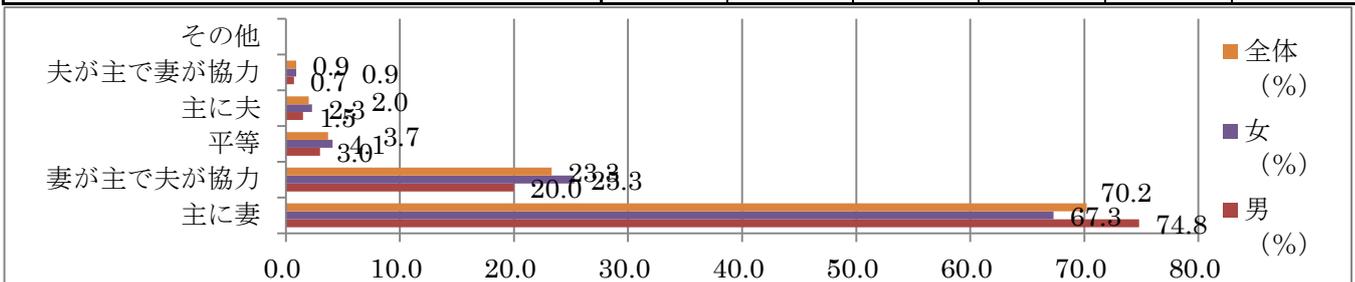


Ⅲ 家庭生活について

問7 あなたの家庭では、夫婦でどのように家庭内の役割を分担していますか。次の項目についてそれぞれ1つえらんでください。

○食事をつくる

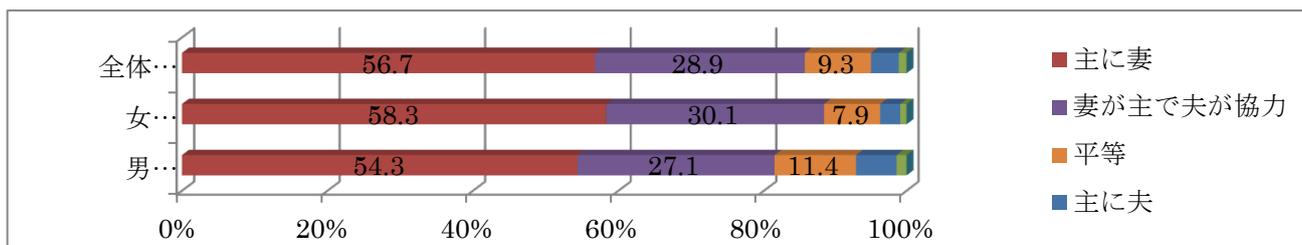
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	101	74.8	146	67.3	247	70.2
2 妻が主で夫が協力	27	20.0	55	25.3	82	23.3
3 平等	4	3.0	9	4.1	13	3.7
4 主に夫	2	1.5	5	2.3	7	2.0
5 夫が主で妻が協力	1	0.7	2	0.9	3	0.9
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	135	100.0	217	100.0	352	100.0



※「主に妻」が、前回の調査では全体平均 72.8% に比べ、若干ではありますが減少しています。

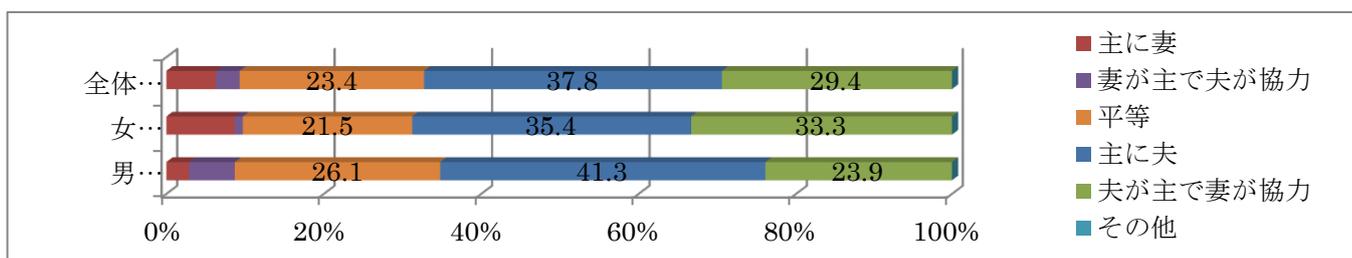
○食事の片づけ (食器洗い等)

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	76	54.3	126	58.3	202	56.7
2 妻が主で夫が協力	38	27.1	65	30.1	103	28.9
3 平等	16	11.4	17	7.9	33	9.3
4 主に夫	8	5.7	6	2.8	14	3.9
5 夫が主で妻が協力	2	1.4	2	0.9	4	1.1
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	140	100.0	216	100.0	356	100.0



○生活費を得る

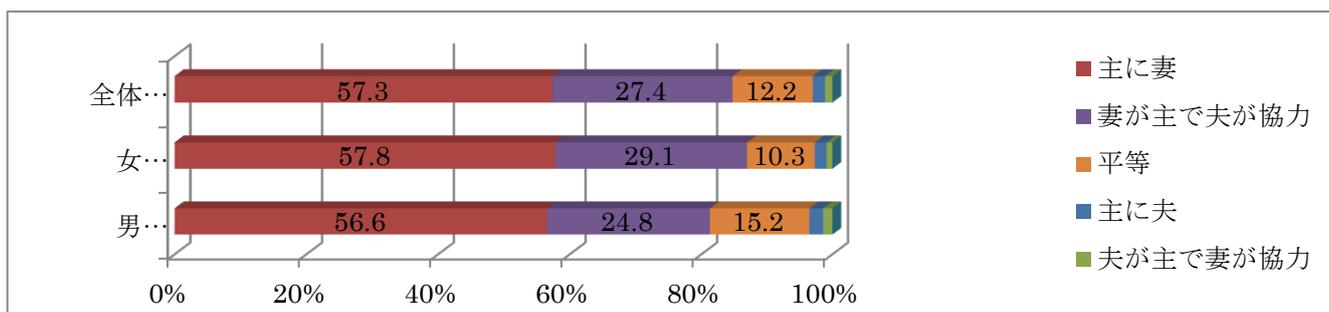
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	4	2.9	17	8.7	21	6.3
2 妻が主で夫が協力	8	5.8	2	1.0	10	3.0
3 平等	36	26.1	42	21.5	78	23.4
4 主に夫	57	41.3	69	35.4	126	37.8
5 夫が主で妻が協力	33	23.9	65	33.3	98	29.4
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	138	100.0	195	100.0	333	100.0



※生活費は、「主に夫」が 37.8%と多く、ついで「夫が主で妻が協力」が 29.4%となっています。

○日常生活の家事 (洗濯・掃除)

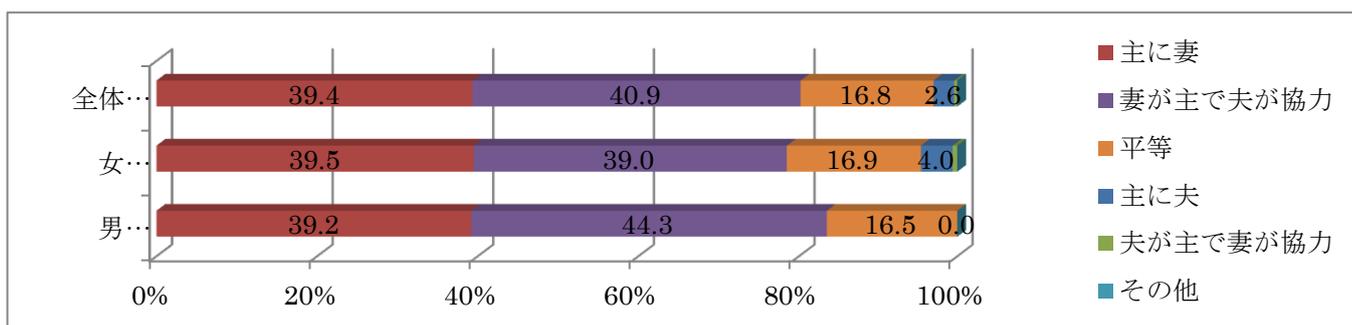
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	82	56.6	129	57.8	211	57.3
2 妻が主で夫が協力	36	24.8	65	29.1	101	27.4
3 平等	22	15.2	23	10.3	45	12.2
4 主に夫	3	2.1	4	1.8	7	1.9
5 夫が主で妻が協力	2	1.4	2	0.9	4	1.1
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	145	100.0	223	100.0	368	100.0



※洗濯、掃除については、まだまだ「主に妻」が多く、「妻が主で夫が協力」の数を合わせると、80%以上を占めています。

○乳幼児の世話

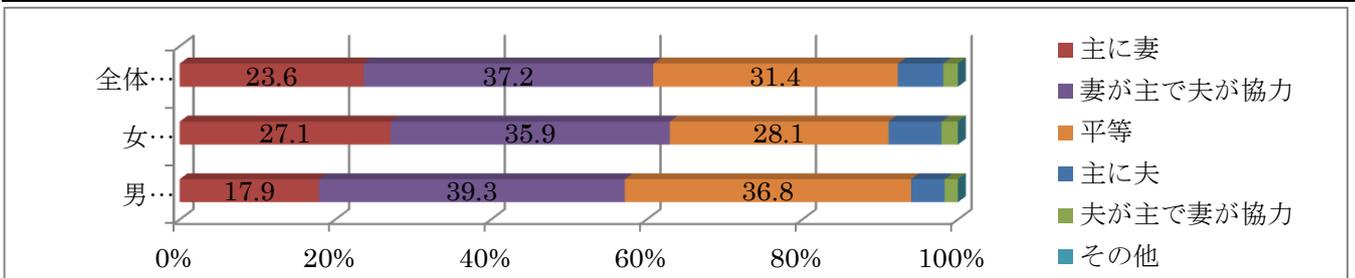
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	38	39.2	70	39.5	108	39.4
2 妻が主で夫が協力	43	44.3	69	39.0	112	40.9
3 平等	16	16.5	30	16.9	46	16.8
4 主に夫	0	0.0	7	4.0	7	2.6
5 夫が主で妻が協力	0	0.0	1	0.6	1	0.4
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	97	100.0	177	100.0	274	100.0



※前回調査では、「主に夫」は、0.2%でしたが、今回の調査で「主に夫」が2.6%に増え、男性の育児参加が進んできたことが伺えます。

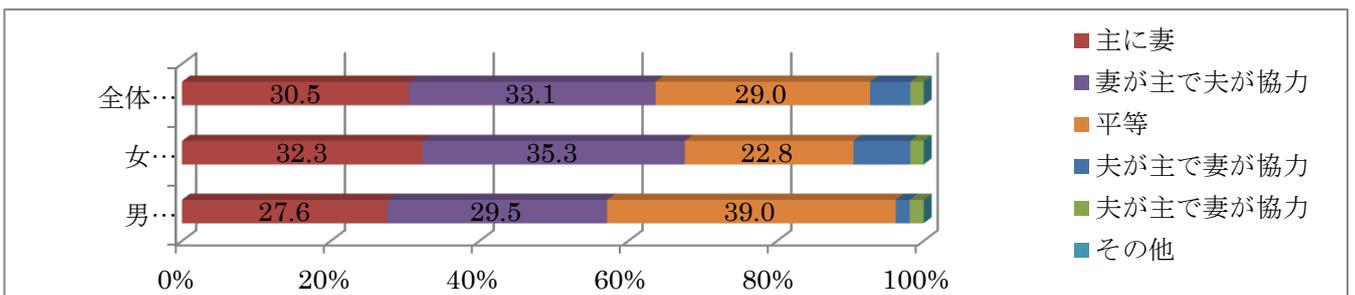
○子どものしつけ・教育

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	21	17.9	52	27.1	73	23.6
2 妻が主で夫が協力	46	39.3	69	35.9	115	37.2
3 平等	43	36.8	54	28.1	97	31.4
4 主に夫	5	4.3	13	6.8	18	5.8
5 夫が主で妻が協力	2	1.7	4	2.1	6	1.9
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	117	100.0	192	100.0	309	100.0



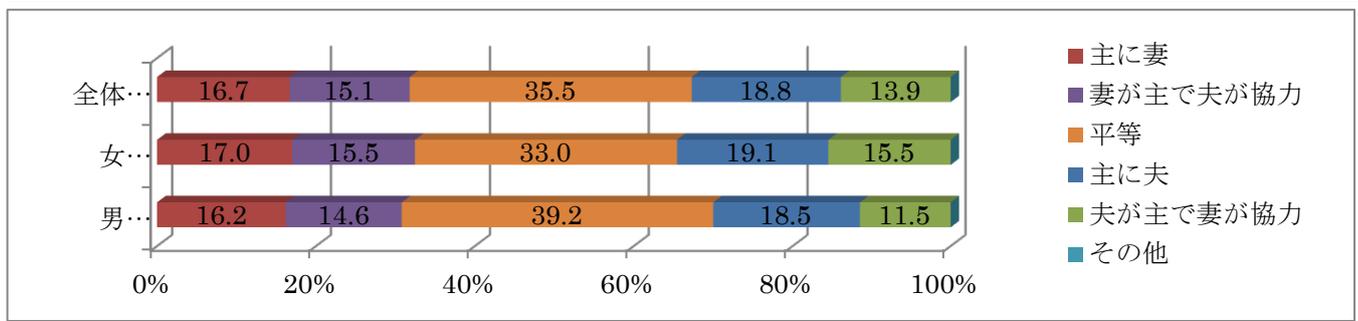
○病人や高齢などの介護

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	29	27.6	54	32.3	83	30.5
2 妻が主で夫が協力	31	29.5	59	35.3	90	33.1
3 平等	41	39.0	38	22.8	79	29.0
4 主に夫	2	1.9	13	7.8	15	5.5
5 夫が主で妻が協力	2	1.9	3	1.8	5	1.8
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	105	100.0	167	100.0	272	100.0



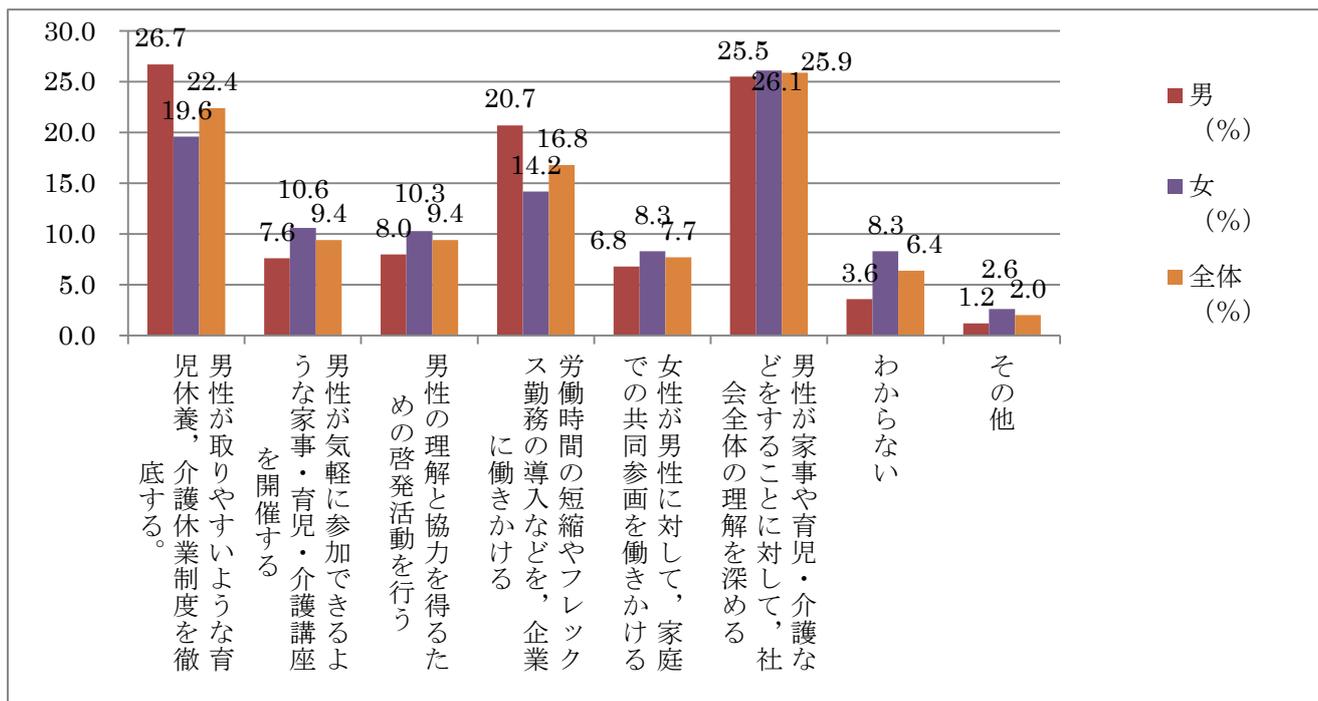
○地域活動への参加

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 主に妻	21	16.2	33	17.0	54	16.7
2 妻が主で夫が協力	19	14.6	30	15.5	49	15.1
3 平等	51	39.2	64	33.0	115	35.5
4 主に夫	24	18.5	37	19.1	61	18.8
5 夫が主で妻が協力	15	11.5	30	15.5	45	13.9
6 その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	130	100.0	194	100.0	324	100.0



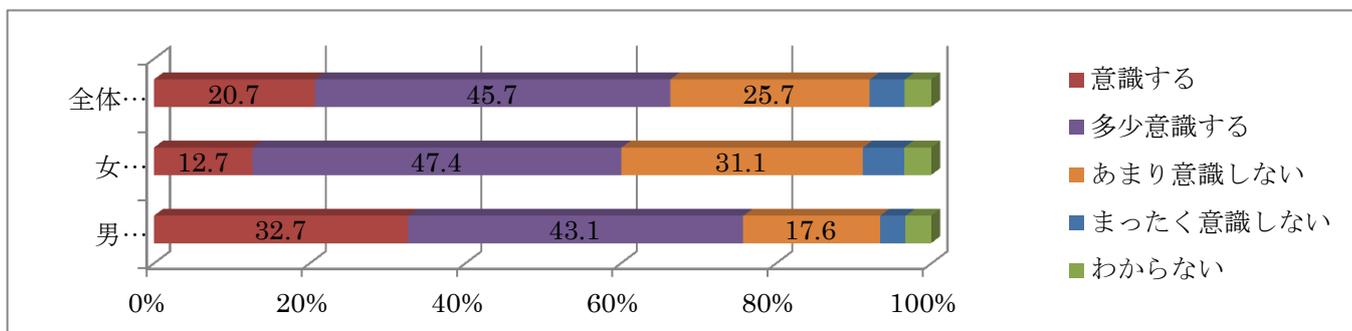
問8 男性にも、家事、育児、介護を行い、家庭での共同参画を進めることが求められていますが、家庭における男性の参画をもっと進めるためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 男性が取りやすいような育児休養、介護休業制度を徹底する	67	26.7	76	19.6	143	22.4
2 男性が気軽に参加できるような家事・育児・介護講座を開催する	19	7.6	41	10.6	60	9.4
3 男性の理解と協力を得るための啓発活動を行う	20	8.0	40	10.3	60	9.4
4 労働時間の短縮やフレックス勤務の導入などを、企業に働きかける	52	20.7	55	14.2	107	16.8
5 女性が男性に対して、家庭での共同参画を働きかける	17	6.8	32	8.3	49	7.7
6 男性が家事や育児・介護などをするに対して、社会全体の理解を深める	64	25.5	101	26.1	165	25.9
7 わからない	9	3.6	32	8.3	41	6.4
8 その他	3	1.2	10	2.6	13	2.0
合計	251	100.0	387	100.0	638	100.0



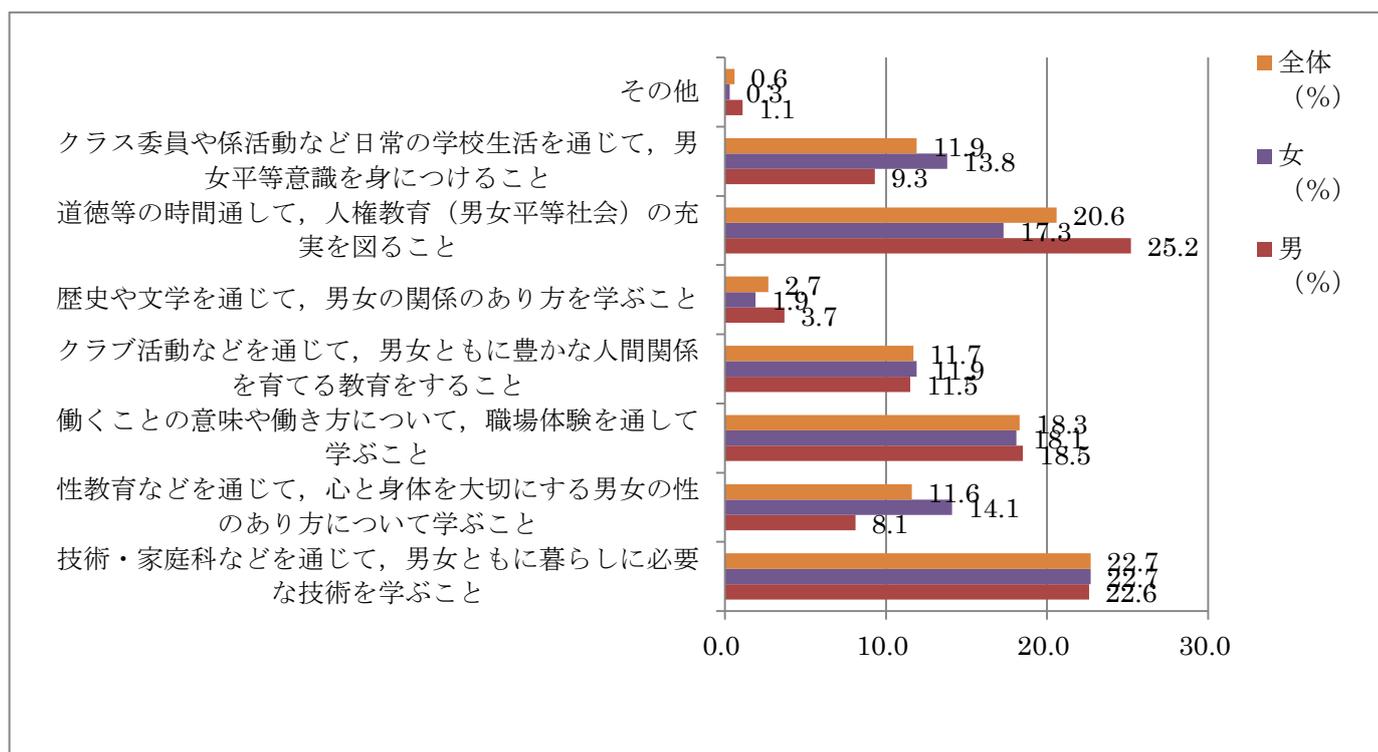
問9 あなたは子どもを教育する場合「女らしさ、男らしさ」という考えを意識しますか。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 意識する	50	32.7	29	12.7	79	20.7
2 多少意識する	66	43.1	108	47.4	174	45.7
3 あまり意識しない	27	17.6	71	31.1	98	25.7
4 まったく意識しない	5	3.3	12	5.3	17	4.5
5 わからない	5	3.3	8	3.5	13	3.4
合計	153	100.0	228	100.0	381	100.0



問10 男女が、対等な関係で協力しあって暮らす社会を作るために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものはなんですか。次の中から2つ以内を選んでください。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 技術・家庭科などを通じて、男女ともに暮らしに必要な技術を学ぶこと	61	22.6	84	22.7	145	22.7
2 性教育などを通じて、心と身体を大切にする男女の性のあり方について学ぶこと	22	8.1	52	14.1	74	11.6
3 働くことの意味や働き方について、職場体験を通して学ぶこと	50	18.5	67	18.1	117	18.3
4 クラブ活動などを通じて、男女ともに豊かな人間関係を育てる教育をすること	31	11.5	44	11.9	75	11.7
5 歴史や文学を通じて、男女の関係のあり方を学ぶこと	10	3.7	7	1.9	17	2.7
6 道徳等の時間を通して、人権教育(男女平等社会)の充実を図ること	68	25.2	64	17.3	132	20.6
7 クラス委員や係活動など日常の学校生活を通じて、男女平等意識を身につけること	25	9.3	51	13.8	76	11.9
8 その他	3	1.1	1	0.3	4	0.6
合計	270	100.0	370	100.0	640	100.0

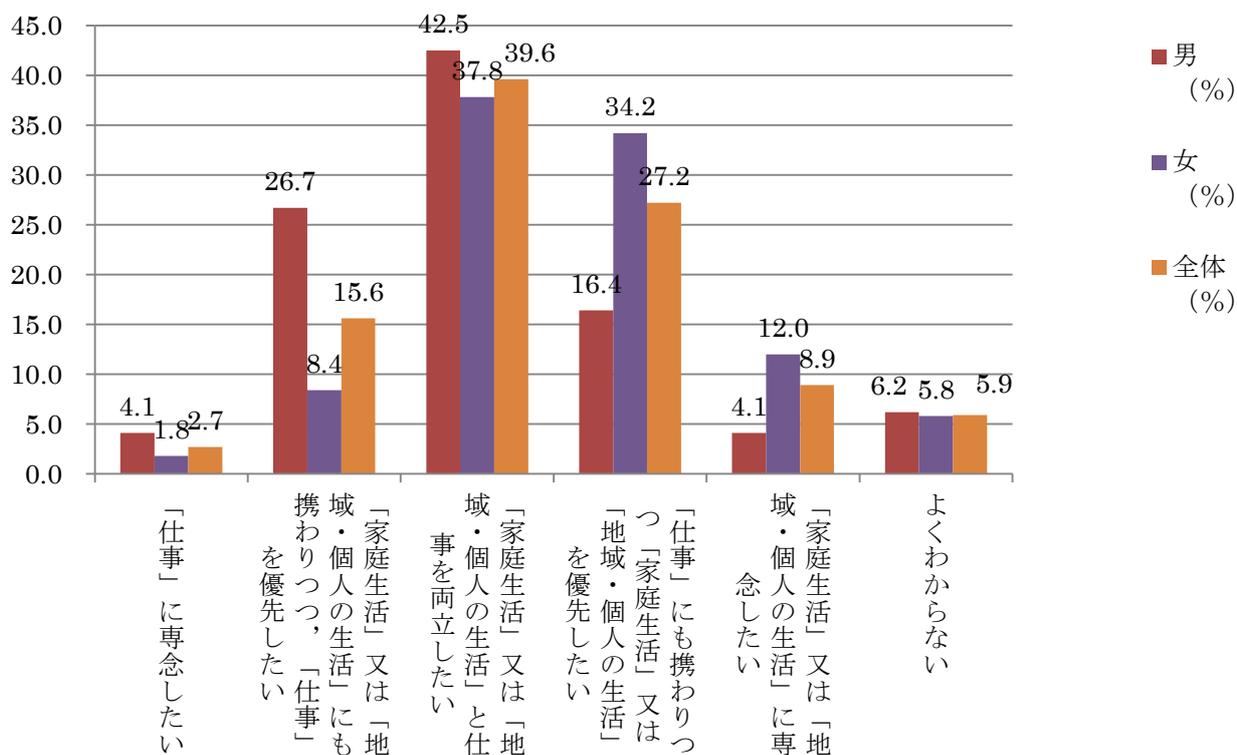


V 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

問11 「仕事」「生活」「地域・個人の生活」の状況において、理想はどうあるべきだと思いますか。また実際はどうですか。(現在、仕事を行っていない方は今後のお考えをお書きください。)それぞれ1つ選んでください。

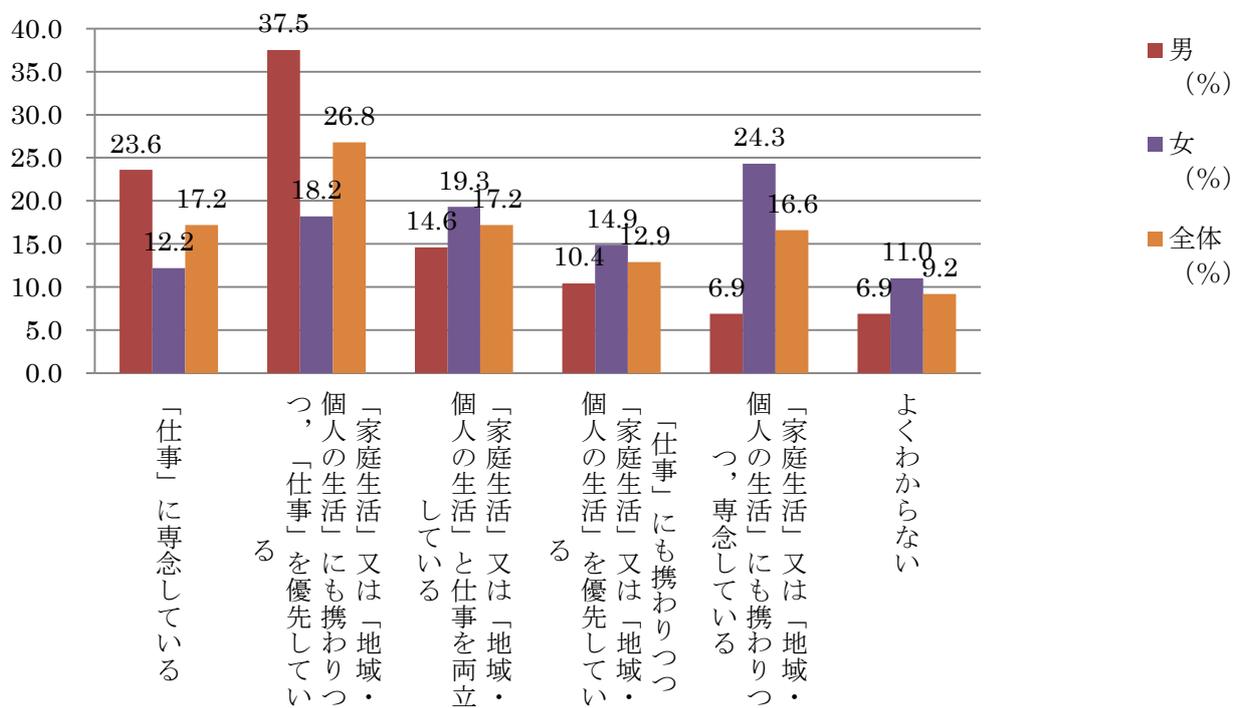
【理想】

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 「仕事」に専念したい	6	4.1	4	1.8	10	2.7
2 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先したい	39	26.7	19	8.4	58	15.6
3 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と仕事を両立したい	62	42.5	85	37.8	147	39.6
4 「仕事」にも携わりつつ「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先したい	24	16.4	77	34.2	101	27.2
5 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念したい	6	4.1	27	12.0	33	8.9
6 よくわからない	9	6.2	13	5.8	22	5.9
合計	146	100.0	225	100.0	371	100.0



【現 実】

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 「仕事」に専念している	34	23.6	22	12.2	56	17.2
2 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している	54	37.5	33	18.2	87	26.8
3 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と仕事を両立している	21	14.6	35	19.3	56	17.2
4 「仕事」にも携わりつつ「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している	15	10.4	27	14.9	42	12.9
5 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、専念している	10	6.9	44	24.3	54	16.6
6 よくわからない	10	6.9	20	11.0	30	9.2
合計	144	100.0	181	100.0	325	100.0

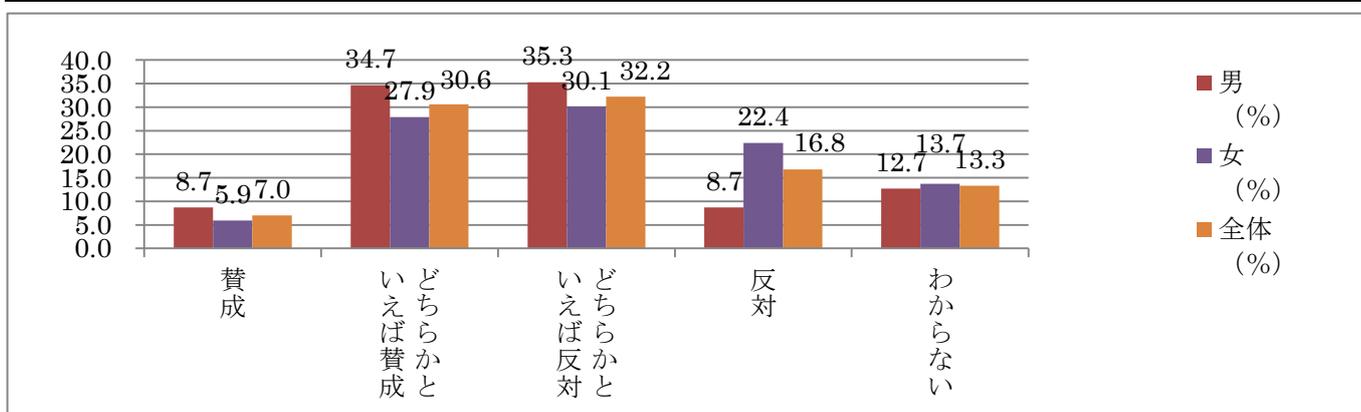


※理想では、「家庭、仕事を両立したい」と考える方が多いが、現実には「仕事優先」になっている現状があります。

VI 固定的役割分担意識について

問12 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」との考えについてあなたはどのように思いますか。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 賛成	13	8.7	13	5.9	26	7.0
2 どちらかといえば賛成	52	34.7	61	27.9	113	30.6
3 どちらかといえば反対	53	35.3	66	30.1	119	32.2
4 反対	13	8.7	49	22.4	62	16.8
5 わからない	19	12.7	30	13.7	49	13.3
合計	150	100.0	219	100.0	369	100.0

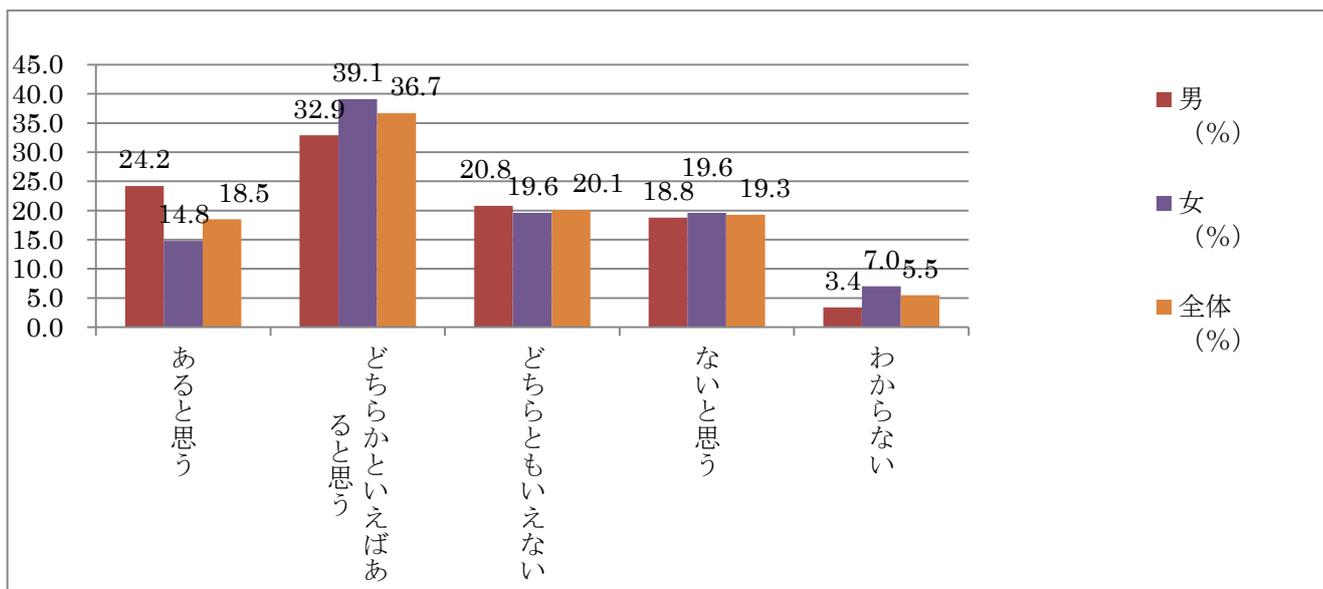


※「反対」意見については、男女の差があり、男性8.7%、女性22.4%となっています。

VII 就業関係について

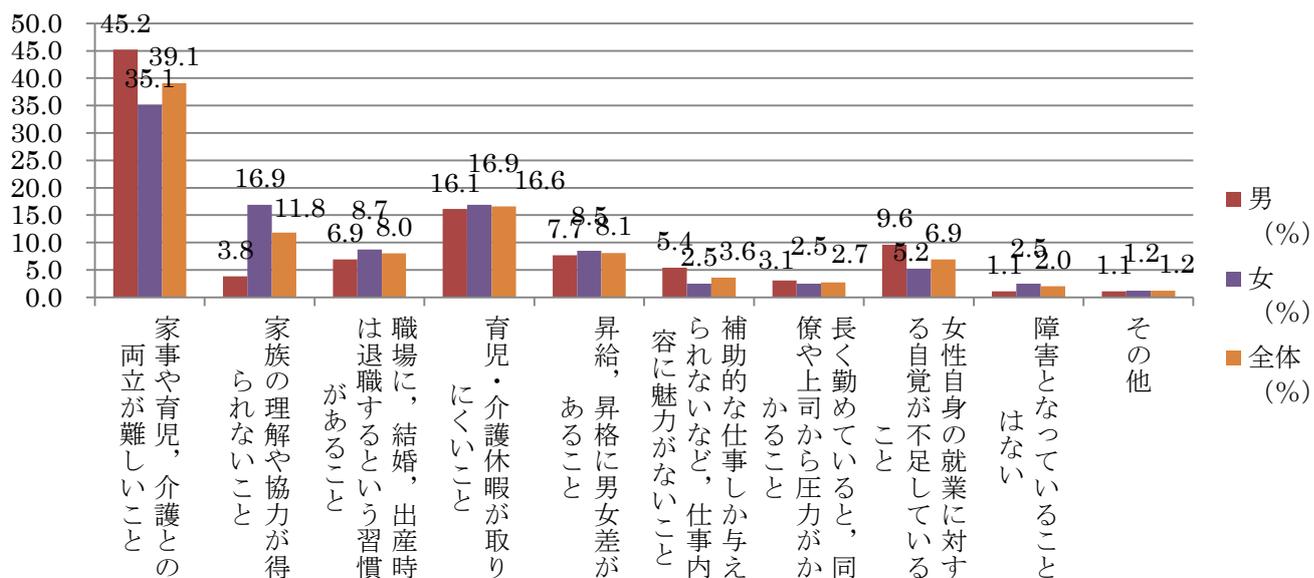
問13 仕事をこなす能力に対する男女差はあると思いますか。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 あると思う	36	24.2	34	14.8	70	18.5
2 どちらかといえばあると思う	49	32.9	90	39.1	139	36.7
3 どちらともいえない	31	20.8	45	19.6	76	20.1
4 ないと思う	28	18.8	45	19.6	73	19.3
5 わからない	5	3.4	16	7.0	21	5.5
合計	149	100.0	230	100.0	379	100.0



問14 女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思えますか。次の中から2つ以内で選んでください。

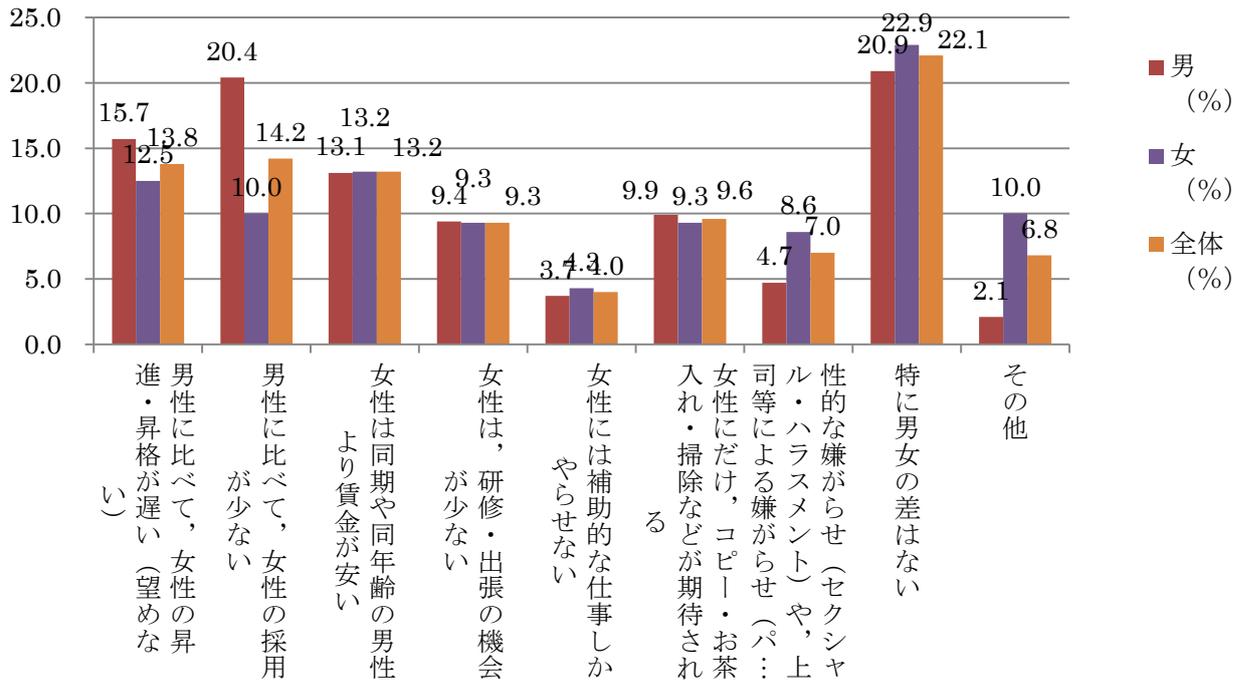
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 家事や育児、介護との両立が難しいこと	118	45.2	141	35.1	259	39.1
2 家族の理解や協力が得られないこと	10	3.8	68	16.9	78	11.8
3 職場に、結婚、出産時は退職するという習慣があること	18	6.9	35	8.7	53	8.0
4 育児・介護休暇が取りにくいこと	42	16.1	68	16.9	110	16.6
5 昇給、昇格に男女差があること	20	7.7	34	8.5	54	8.1
6 補助的な仕事しか与えられないなど、 仕事内容に魅力がないこと	14	5.4	10	2.5	24	3.6
7 長く勤めていると、同僚や上司から圧 力がかかること	8	3.1	10	2.5	18	2.7
8 女性自身の就業に対する自覚が不足 していること	25	9.6	21	5.2	46	6.9
9 障害となっていることはない	3	1.1	10	2.5	13	2.0
10 その他	3	1.1	5	1.2	8	1.2
合計	261	100.0	402	100.0	663	100.0



※女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは、「家事や育児、介護との両立が難しいこと」と、全体の 39.1%の方が答えています。次に、「育児、介護休暇が取りにくいこと」と16.6%の方が答えています。

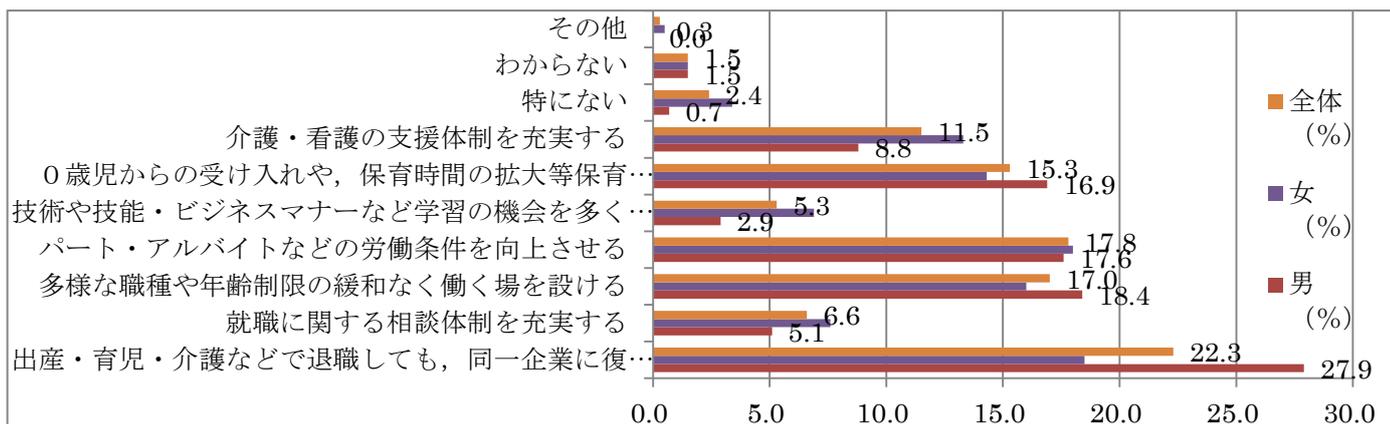
問15 あなたが勤務している職場で、次のようなことがありますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 男性に比べて、女性の昇進・昇格が遅い(望めない)	30	15.7	35	12.5	65	13.8
2 男性に比べて、女性の採用が少ない	39	20.4	28	10.0	67	14.2
3 女性は同期や同年齢の男性より賃金が安い	25	13.1	37	13.2	62	13.2
4 女性は、研修・出張の機会が少ない	18	9.4	26	9.3	44	9.3
5 女性には補助的な仕事しかやらせない	7	3.7	12	4.3	19	4.0
6 女性にだけ、コピー・お茶入れ・掃除などが期待される	19	9.9	26	9.3	45	9.6
7 性的な嫌がらせ(セクシャル・ハラスメント)や、上司等による嫌がらせ(パワー・ハラスメント)がある	9	4.7	24	8.6	33	7.0
8 特に男女の差はない	40	20.9	64	22.9	104	22.1
9 その他	4	2.1	28	10.0	32	6.8
合計	191	100.0	280	100.0	471	100.0



問16 これから再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いますか。次の中から、2つ以内で選んでください。

	男		女		全体	
	実数(人)	男(%)	実数(人)	女(%)	実数(人)	全体(%)
1 出産・育児・介護などで退職しても、同一企業に復帰できるようにする	76	27.9	75	18.5	151	22.3
2 就職に関する相談体制を充実する	14	5.1	31	7.6	45	6.6
3 多様な職種や年齢制限の緩和なく働く場を設ける	50	18.4	65	16.0	115	17.0
4 パート・アルバイトなどの労働条件を向上させる	48	17.6	73	18.0	121	17.8
5 技術や技能・ビジネスマナーなど学習の機会を多くする	8	2.9	28	6.9	36	5.3
6 0歳児からの受け入れや、保育時間の拡大等保育サービスを充実させる	46	16.9	58	14.3	104	15.3
7 介護・看護の支援体制を充実する	24	8.8	54	13.3	78	11.5
8 特になし	2	0.7	14	3.4	16	2.4
9 わからない	4	1.5	6	1.5	10	1.5
10 その他	0	0.0	2	0.5	2	0.3
合計	272	100.0	406	100.0	678	100.0

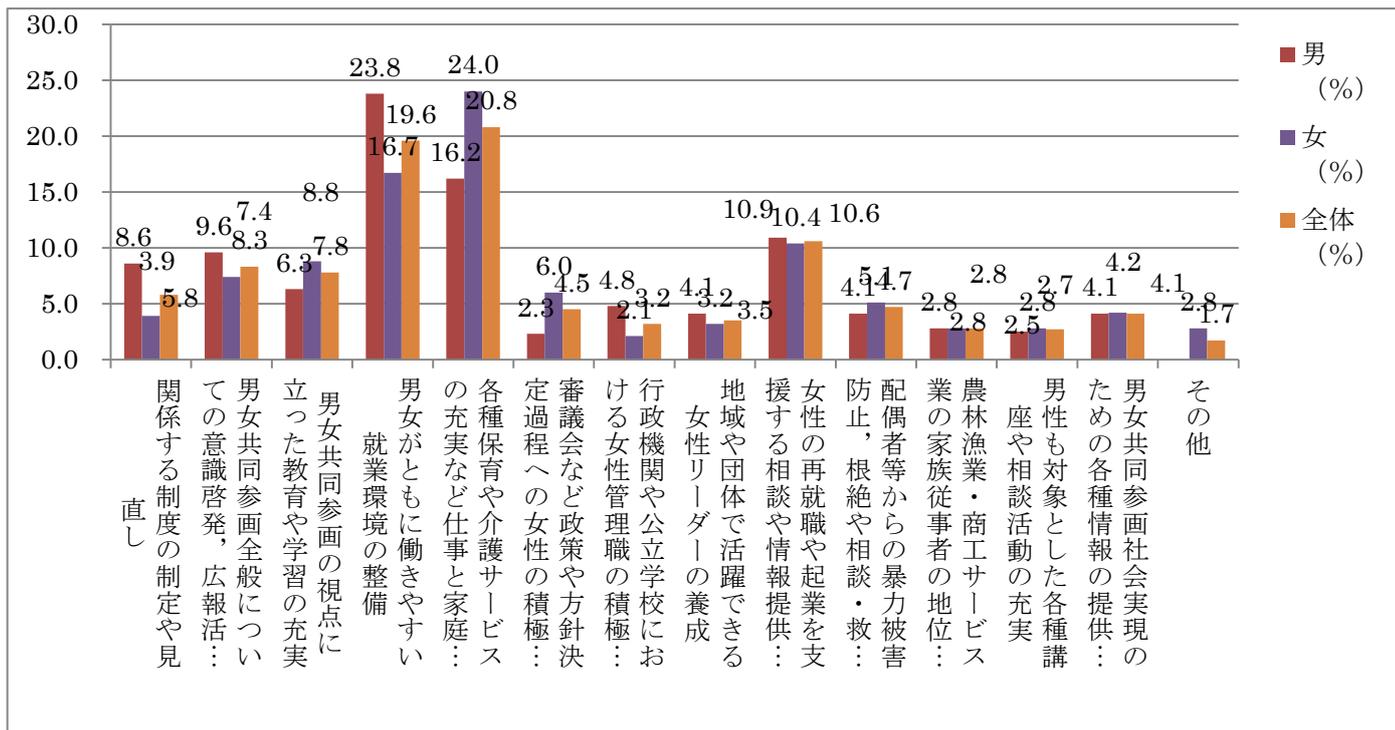


※女性の再就職に対しての質問では、「同一企業への復帰」を望む方が多く全体の 22.3%、次に「労働条件の向上」が、17.0%となりました。

VIII 男女共同参画社会について

問17 男女共同参画社会を実現するためには、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

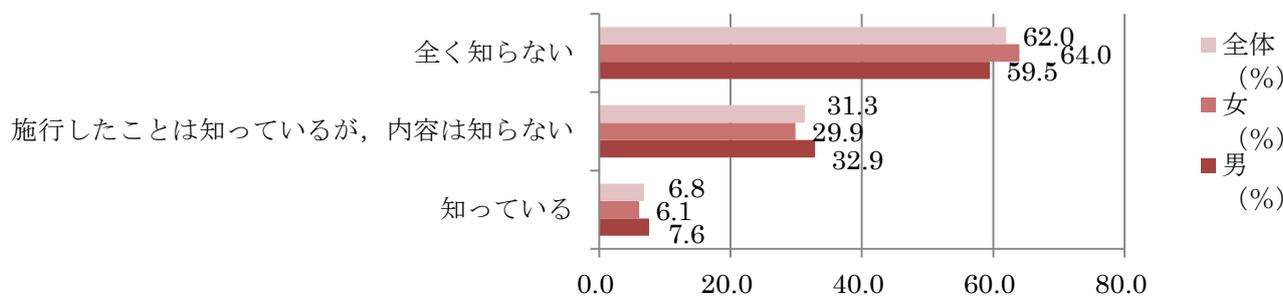
	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 関係する制度の制定や見直し	34	8.6	22	3.9	56	5.8
2 男女共同参画全般についての意識啓発、広報活動の充実	38	9.6	42	7.4	80	8.3
3 男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実	25	6.3	50	8.8	75	7.8
4 男女がともに働きやすい就業環境の整備	94	23.8	95	16.7	189	19.6
5 各種保育や介護サービスの充実など仕事と家庭の両立支援	64	16.2	137	24.0	201	20.8
6 審議会など政策や方針決定過程への女性の積極的起用	9	2.3	34	6.0	43	4.5
7 行政機関や公立学校における女性管理職の積極的起用	19	4.8	12	2.1	31	3.2
8 地域や団体に活躍できる女性リーダーの養成	16	4.1	18	3.2	34	3.5
9 女性の再就職や起業を支援する相談や情報提供などの施策の充実	43	10.9	59	10.4	102	10.6
10 配偶者等からの暴力被害防止、根絶や相談・救援体制の充実	16	4.1	29	5.1	45	4.7
11 農林漁業・商工サービス業の家族従事者の地位向上	11	2.8	16	2.8	27	2.8
12 男性も対象とした各種講座や相談活動の充実	10	2.5	16	2.8	26	2.7
13 男女共同参画社会実現のための各種情報の提供や団体交流、調査研修などを実施する拠点施設の設置	16	4.1	24	4.2	40	4.1
14 その他	0	0.0	16	2.8	16	1.7
合計	395	100.0	570	100.0	965	100.0



※「男女がともに働きやすい就業環境の整備」と「各種保育や介護サービスの充実など仕事と家庭の両立支援」「女性の再就職や起業の支援」が男女ともに望まれています。

問18 常総市では、平成19年4月から男女共同参画推進条例を施行していますが、あなたはこの条例の内容をご存じですか。

	男		女		全体	
	実数 (人)	男 (%)	実数 (人)	女 (%)	実数 (人)	全体 (%)
1 知っている	12	7.6	12	6.1	24	6.8
2 施行したことは知っているが、内容は知らない	52	32.9	59	29.9	111	31.3
3 全く知らない	94	59.5	126	64.0	220	62.0
合計	158	100.0	197	100.0	355	100.0



※条例制定後、5年を経過しているにもかかわらず全く知らないという方が全体の62%もあり、周知が必要となります。

自由記入要望等のまとめ

調査の最後に、男女共同参画推進についてのご意見、ご要望を自由に記入してもらう欄を設けました。その内容を年齢・性別に整理し、原文のまま紹介します。

年齢	性別	内 容
20代	女性	特にシングルマザーや、DVの被害にあっている女性への支援は緊急性の高いものだと思います。現状把握と適切な支援体制の確立をお願いします。
		条例が施行されたことを全く知らなかったのも何とも言えないが、ひょっとしたら、他の方も知らないと思うので、市が積極的にそれに対するサービス業などを進めて広めるべきだと思う。
		日本の社会に根底にある目に見えない男女差別がある限り、男女平等というのは程遠いと思います。親世代の概念は変えられないと思うので、これからの未来を担う子どもたちに教育をしていくべきだと思います。
		私自身の周りでは、極だった男女差別は見受けられませんが、各家庭や職場を細かく見ると、きっと問題視しなくてはいけない所があるのだと思います。こういったアンケートのように、困っている人が言い出せるようなきっかけがあるといいのかもしれませんが。電話サービスとか相談所とか。
	男性	出世をしている女性も大勢いる。女性だからというのではなく、女性自身の仕事に対する認識の甘さが問題であると思います。
条例を全く知らなかったのも、パンフレットなどを回覧してほしい。		
30代	女性	活動内容は、定期刊行されるおたよりでしか知りませんでした。男性だから出来ること、女性だから出来ること（得意なこと）があると思うので、お互いに力を発揮できる機会が広がってほしいと思います。身近な活動を期待しています。
		政治の場に積極的に女性を登用することも大切だとは思いますが、本当に困っている立場の女性の声を多く集め検討する方が良いのではないかと考えます。 (取り入れていく体制を作り上げる方)
		常総市がみんなにとって住みやすいところになるように、私たち市民も協力します。
		女性が外で働くには、保育・介護サービスを充実していただき、女性が働ける環境を作ってほしいという思いが強いです。保育・介護サービスを利用したくても条件がきびしく利用することができないという声もよく聞きます。そうになると、必然的に女性は家庭から外へ出ることができません。施設やサービスを利用しやすくなる環境、協力体制が向上するよう願います。

30代	女性	<p>男性も女性も高齢化で介護が必要になると家庭の中は大変な状態になるので、どちらが介護してもされても支援してもらえれば生活ができるので、力を入れてほしい。</p>
		<p>最近の若い夫婦は、夫も家事、育児などに協力してくれる人が多くなってきていいと思います。これからも、もっと夫に協力してもらえるように広報活動に力を入れてもらいたいと思います。</p>
		<p>正社員はもちろんパートにしても、結婚後退職して再度就職をしようと思うと、小さなお子さまがいる人は、とか、これから子どもをつくる方は「子どもができたらどうしますか？」などと言われ、面接でうけいられないこともあります。女性がもう一度社会に出るためには、企業の協力も必要だと思います。市の方でも企業に働きかけて頂けたらと思います。</p>
	男性	<p>女性に（妻）に家事・育児を任せています。女性がそれを行うのが当然という思いがどこかにあると思います。女性もそれを行うのは当然とされているでしょう。そのために責任を伴う仕事を女性に与えようとすると、「家事があるから、介護があるから・・・。」と言いたくなる方もいると思います。男性また、女性が「家のことは女」と思っている限り男女共同参画は困難に思います。私は、上記のことで良いと思います。</p>
40代	女性	<p>このアンケートをムダにしないでほしいです。</p>
		<p>「鉄は熱いうちに打て」教育の場を通して、早い時期から子供たちに男女共同参画についての意識が高まれば、将来的に社会はもっと変わっていくと思います。</p>
		<p>女性自身（親も含め）がもう少し向上心を持って小学校から勉強などに一生懸命取り組むことが必要だと思います。私は県外から嫁いで来たのでよく思うのですが、ここら辺の方は、わりと近場同士で結婚している人が多いと思います。その為か、地元意識が非常に強いです。</p> <p>それがとてもよい事でもあると思いますが、逆に言うと外を知らなすぎます。もちろん地元の学校を出て地元で就職も良いですが、外から来た人にとって、地元の人とはやはりよそ者なので、話も合わないし、意見もあまり聞き入れないところがあると思います。最初からこれでは、女性の地位向上なんて無理なのではないではないでしょうか。とりあえず、すべての意識改革が必要だと思います。</p>
		<p>市民が関心を持てるようにしてほしいと思います。これからは、男女がもっとお互いに力を出し合い、上手に得意分野を伸ばし分配して、男女という枠を飛び越えた新しい社会を作っていくべきだと思います。子どもを産むのは女性しか出来ないこと。子育てが終われば立派に社会復帰は可能です。そのためにも保育面、後の介護面の支援は不可欠です。現実的な策を練っていただきたいです。</p>

40代	女性	<p>今現在の介護の現実を会報などで配布してほしい。(妻ばかりに負担をかけ、夫は協力しない家庭が多いので、少しでも妻の苦労を夫にわかってほしい。)</p> <p>これは集計して終わりですか？何かの役に立つんですか？公務員と一般の社会ではあまりにも福利厚生が違います。市役所のみなさんが子の集計を取ってもパートやバイトでつないでいる人々の気持ちはわからないと思います。</p> <p>昔に比べれば制度は充実してきたが、それを利用しづらい悪しき慣習、圧力が職場にあると思う。女性はたくましく社会に出ているが、家庭生活で人手が必要な時、賃金の低い女性が仕事をあきらめなければならない。生活にはお金が必要なのだ。最近の若い父親は、育児にとっても協力的だと思う。意識啓発、広報活動の成果だと思う。時間はかかるが子どもの教育から見直しして10年、20年後には、もっと良い社会になって欲しい。</p>
	男性	<p>どのような活動をしているのかわかりません。もっと“見える化“していけば、他の人達に伝わるのではないのでしょうか。今後の活動に期待します。</p>
50代	女性	<p>認識不足で申し訳ありません。今後ホームページ（常総市）等で情報を得たいと思います。</p> <p>思いやりを大切にして男性女性関係なく協力し合えるような社会を作り上げていきたいです。そのためには近所の人との付き合い方等も大切になってくると思います。一人一人が地域の行事等に積極的に参加して、人とのコミュニケーションをとることが重要なのでは？</p> <p>女性の社会進出の推進をぜひお願いします。古い考えを捨てること、特に年配層の意識の改革、家族協力が重要だと思います。</p> <p>男女共同参画でも男らしさ女らしさは大切であるし、それぞれが得意とする大事な役割を担当し、男だから女だからと差別することなく、仲よくやっていけたらと思う。そういう意味でこの市の男女共同参画推進はとても良いと思う。</p> <p>病気で生活できない人たちに法律で生活保護の内容が厳しすぎるので困ります。年をとってからの生活ができるように保障して欲しいと思います。老後が不安の人はたくさんいると思います。</p> <p>家事や育児を分担する若い方は増えているようですが、現在高齢者を介護しているのは、50代60代の女性が多いと思います。育児は先が見えるけれど、介護は先が見えない。仕事を退くことになる場合がほとんどです。デイサービス等を利用したとしても、ストレスが溜まる介護をしている人自身へのケアも何かあるといいと思います。</p> <p>男女共同参画推進について、全く知らなかったのもう少し広報活動に力を入れてほしい。</p>

50代	女性	常総市もっと暮らしやすい商業施設等を！人がいないのに公園やお祭りプラザをなんとかしてほしい。さびれている、暮らしやすい生活を男女とも希望。
	男性	どんな条例を施行したのか全然知らない。どんな風が変わってどんな結果、効果を達成したのか？仕事するための仕事で、市役所担当の方、本当に市民のためにやろうと思っていますか？皆さん、自分のためにやっているだけでは？
		内容等を知りたいのですがどうしたらわかりますか。教えてください。
60代	女性	私は 59 才で病気のために会社を退社しましたが、中年の働ける場所はありませんでした。今は専業主婦ですが務めている時のことを書きました。
		社会のあらゆる分野の指導的地位において、女性が占める割合を「20 年までに 30%程度にする」目標を掲げているので、常総市もそれに向かって努力していると思うが、それは、あくまでも目標であって、もっと身近な部分で男女共同参画について推進していく必要があると思う。女性の登用率だけが先にでてしまっているように思われる。
		ワーク・ライフ・バランスも市町村大手企業等出れば可能かもしれないが一般的には難しいと思われる。であれば、もう少し身近にお互い（家族・職場）の中で協力しあえること等具体的な面での啓蒙が必要ではないかと思われる。そのことを第 2 次計画の目標に掲げて、推進していったら如何なものか？
		若い父親たちは違うと思いますが、60 代の男達は、家庭の家事や女性の家庭にあつての役割について本当に理解してないと思います。老いた主人を変えるのは大変なことであきらめています。できるだけ、主人の言う通りにすることを心がけて来た自分のやり方にも責任があることを、子どもから指摘され反省もしていますが、間に合わないと思ってしまう。この事業（共同参画）がもっと盛んになってほしいと思います。
		男女共同参画計画を策定して 10 年経過しましたが、私の住んでいる農村地帯では、まだまだ男女平等とは言えない地域性があります。家庭における男女共同はだいぶ浸透してきており、男女共に協力し生活しているように思われます。60 才以上の人たちは、男性中心で、女性は補助的な存在の傾向が見られます。今後は地域社会や、職場における男女共同参画の啓発に力を注いでほしいと思います。また、男女共同がなかなか浸透していかないのは、女性にも責任があるのではないのでしょうか。女性が常に能力や意識向上に努力し声を上げなければ、女性の地位は向上しないような気がします。
		今後とも積極的に推進してください。
		女性の働く環境の向上に尽力してほしい 賃金、職域の拡充、市買う制度（市独自でも）、働ける体制、等から自立を高めることが出来れば男女共同参画も加速すると思います。
		良くわかりません。

60代	女性	<p>内容を知っている人は少ないと思います。せっかく良い条例があっても残念でなりません。昔からの古い考えばかりが正しいような土地…の気がします。</p>
		<p>私は、定年を過ぎて、介護の仕事を始めましたが、若い男の人がたくさん働いています。これからは、男の人、女の人と考えず、いろんな面でも平等になっていかなければならないと思います。早く平等な社会になってもらいたいです。</p>
		<p>男女共同ではなく、人間共同参画推進と変えたらどうですか？対等，平等にしよう，差別をなくそうではなく，差がある（体力とか）ところをお互い認めつつ，（同じ立場に立つ，思いやる）思考を推進して欲しい。教育も含めて・・・。</p>
		<p>この男女共同参画という言葉が言われるようになって、ずいぶん月日がたちましたが、改めて、男女共同参画社会「さあ、何をしよう！」ではなく、学校教育のあらゆる場面で、全ての教科でいろいろな角度から自然に身に着くようにしていくと良いのではないか。低学年から～。中心は、家庭科の教科でまずとりあげるのが望ましいと思う。</p>
		<p>男女参画社会といってもやはり各事業所・施設なりの考え方が異なる限り、充実されるということは難しいと思います。労働者は、一生懸命でもそれを認めてくれる事業者が少ないのでは、と思います。ですから事業者の教育も必要と思います。家庭内では、男女の差別はなくなっていると思います。</p>
		<p>前に夫からDV被害を受けたことがあります。各所に相談しましたが、夫から離れる事だけ言われました。それはわかりますが、今まで頑張ってきたところを離れるのはとても悔しかったし、生活もできません。（今は戻っています） もっと女性を守る方法はないのでしょうか。 暴力した方はそのまま許されていいのでしょうか。 今の法律は、ちょっとおかしいと思います。</p>
		<p>男女共同参画社会というけれど、活躍しているのは一部で、いつも同じ顔ぶれのような気がします。普通の市民（主婦）は関係がないように思います。もっと幅を広げて人選してはいかがでしょう。・・・何事にしても！ 男女共同参画課は、何のため、だれのため、目的は何？このアンケートをまとめて、それからどうしますか。</p>
		<p>これからも積極的な情報の公開と市民周知をしていただきたいと思います。 今回の意識調査の結果を分析し調査協力者に連絡をしていただきたいと思います。 担当者の皆様方のご努力に深く感謝を申し上げます。ますますのご活躍をお祈り申し上げます。</p>

60代	女性	法律とか役場の指導などでなく、一人一人の中に自由と自立と責任の心が沁み渡れば良いと思います。仕事の内容（家庭内においても同様）で、男女差の意識がなくなれば自然に解決すると思います。長い時間がかかるとは思いますが学校教育の中で、男の人、女の人の前に一人の人として育てるのが良いと思います。
	男性	もっと経済産業が良くなると、又、高齢化社会であり、働く一線から外れ家庭ごもり、最悪条件が続いては、私は産業開発が進み、好きな時間を働ける様なら、男女平等も成し得ることと思います。
		男女共同参画社会の実現は望ましいことではあるが、仕事内容を問わず何が何でも平等であるという流れに行ってしまう事は、女性自身にとってマイナスになるのではないかと考えています。男女ということではなく、一人一人の人間として対応していければ良いと思います。例として主婦でも主夫でも良いと考えています。
		男女共同参画,平等についての意識は、地域、家庭の伝統及び育った環境や世代によって異なり、全体を同じ考え方で早急に改革するには無理があると思います。それには世代層別や生活の同環境者、学校別（小・中・高・大）等で、啓蒙、啓発、情報交換、交流活動の推進が必要と考える。
		私には難しくわからない。
		はき違えた男女平等には、十分注意して取り組むべきだと思う。
		各地区のリーダーを作り、市では今後どの様な取組を作るかによって変わる。
不明	女性の働く環境の向上に尽力してほしい。 賃金・職域の拡充・資格制度(市独自でも)・働ける体制等から自立を高めることが出来れば男女共同参画も加速するかと思います。	

男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書

平成25年度

発行／常総市 市民生活部 市民協働課 男女共同参画室
〒303-8501
茨城県常総市水海道諏訪町3222-3
TEL 0287-23-2111(代表)